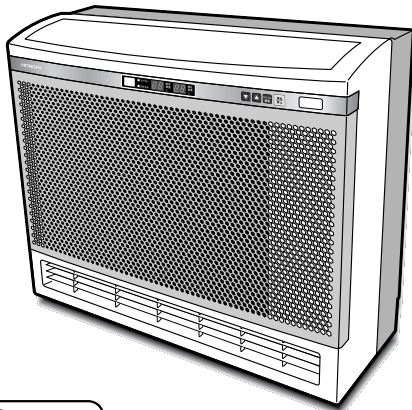
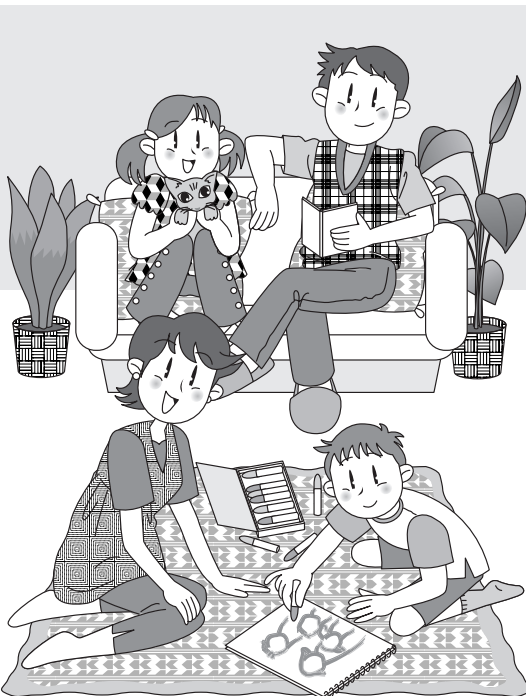
日立ルームエアコン

取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

RAF-36X形
RAF-40X2形
RAF-50X2形

室内機 RAF-36X形／室外機 RAC-F36X形
室内機 RAF-40X2形／室外機 RAC-F40X2形
室内機 RAF-50X2形／室外機 RAC-F50X2形

この製品はオゾン層を破壊しない冷媒を使用しています。

インバーター
冷房・暖房
カラッと除湿タイプ
〈セパレート床置形〉

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書と共に大切に保存してください。

も く じ

ご使用の前に

基本的な使い方

便利な使い方

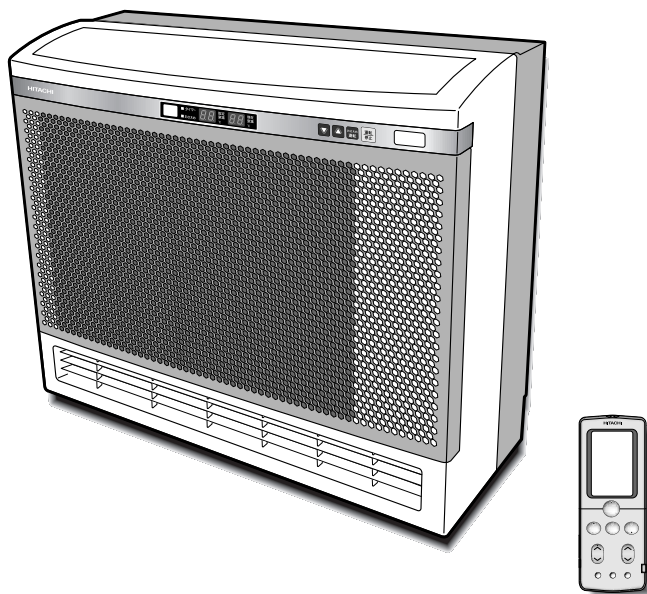
上手な使い方

アフターサービス

● 小さいお子様などにつきましても安全のために、警告・注意に記載されている部分に触れることのないようくれぐれもご注意ください。

はじめに

このルームエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものです。食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など特殊用途には使用しないでください。また、能力以上の負荷で使用しないでください。

特長

[ノンストップ暖房]

室外機に付いた霜を、暖房運転を行いながら溶かすので、お部屋の暖かさをキープします。（☞ 29ページ）

[上・下2吹出し方式]

暖房時は上吹出しの他に、足元からも温風を吹出します。冷房時も運転開始時には上下から冷風を吹出し、急速冷房します。

[丸洗いパネル]

汚れが気になる吸い込み口の前面パネルを取り外すことができ、水で丸洗いすることができます。

[カラッと除湿]

湿度をしっかり下げるカラッと除湿。
快速ランドリー、けつろ抑制モードが選べます。

[内部クリーン]

エアコン内部を清潔に保つ内部クリーン機能。エアコン内部のカビの発生を抑えて、いつもきれいな空気を届けます。

[PAM制御]

インバーターエアコンの能力を最大限に引き出します。厳しい寒さの日でもお部屋をしっかり暖めます。

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示と内容を無視して誤った使い方をしていたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告……この表示の欄は、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

⚠ 注意……この表示の欄は、「傷害を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがある」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

● お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保存してください。

据え付け上の注意事項

⚠ 警告

● **改造は行わない**
改造を行いますと、水漏れ・故障・感電・火災の原因になります。

禁止

● **据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する**
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

強制

● **電源は必ずエアコン専用のコンセントを使用する**
専用以外のコンセントを使用すると発熱し、火災の原因になります。

強制

● **アース（接地）を確実に行う**
● **アース工事は、販売店または専門業者に依頼する**
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないでください。
アース（接地）が不確実な場合は、故障や漏電のときに感電や火災の原因になります。

アース線接続

⚠ 注意

● **湿気の多いところ、雨水など水気のあるところに設置するときは、漏電しゃ断器を取り付ける**
漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。

強制

● **可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは、設置しない**
万一ガスが漏れて室外機の周囲にたまると、発火して火災の原因になることがあります。

禁止

● **除湿水は、確実に排水できるようにする**
排水経路に不備があると、室内・室外機から水が滴下し、家財などを濡らす原因になることがあります。

強制

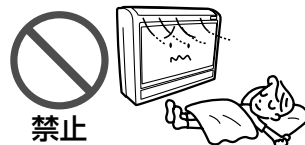
● **指定以外の電源に接続しない**
指定以外の電源を使うと、電気部品が発熱し、火災の原因になります。

強制

…安全上のご注意

⚠警告

使用上の注意事項

● **長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎたりしない**
体調悪化や健康障害の原因になります。

● **電源プラグは、ホコリが付着していないか確認し、ガタつきやホコリがたまらないように刃の根元まで確実に差し込む**
ホコリがたまった状態での使用や、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

強制

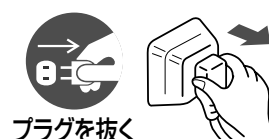
● **電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線やステップルでの固定を行わない**
また、つっぱらないようにゆとりを持たせて配線する
感電や発熱・火災の原因になります。

● **電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、物を載せたり、加熱したり、加工したり、物と物の間にはさんだりしない**
電源コードが破損する原因になります。
傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。

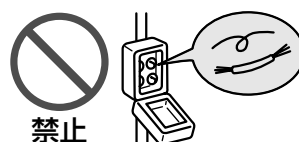
● **室内・室外機の吹き出し口や吸い込み口をふさいだり、指や棒を入れない**
内部でファンが高速回転しておりますので、けがや故障の原因になります。また、性能が低下します。

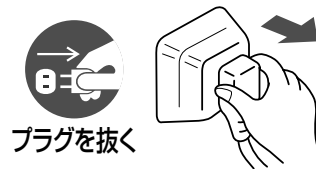
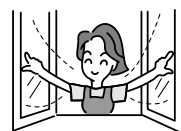
禁止

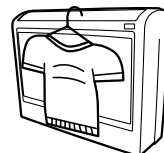
● **電源プラグの抜き差しにより、エアコンの運転や停止をしない**
感電や火災の原因になります。

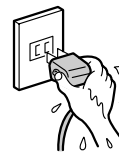
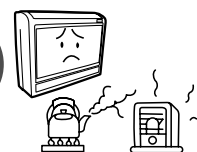
● **異常時（こげ臭い）は、運転を停止して電源プラグを抜き（またはブレーカーを“OFF”にして）お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼する**
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。

プラグを抜く

● **安全器のヒューズの代わりに、針金や銅線を使わない**
故障や火災の原因になります。

使用上の注意事項

⚠注意

- **落雷のおそれがあるときは、運転を停止し、電源プラグを抜く（またはブレーカーを“OFF”にする）**
  落雷の程度によっては、故障の原因になります。

- **密閉した部屋で使用するときや、燃焼器具と一緒に使用するときは、こまめに換気を行う**
  換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

- **エアコンが冷えない、暖まらない場合は冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられるので、お買い上げの販売店に相談する**
  冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する
  エアコンに使用されている冷媒そのものは無害です。万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると有害な生成物が発生します。刺激臭があるときには、すぐにエアコンを停止し窓等を開けて換気し、販売店にご連絡ください。

- **暖房運転時、空気吹き出し口や室内機の前方50cm以内に家具などの障害物を置かない**
  エアコン自体や家具などが変形する原因になります。

- **このエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものですので、食品・動植物・精密機器・美術品・医療品等の保存など特殊用途には使用しない**
  エアコン自体ならびにこれらの品物の品質低下の原因になることがあります。

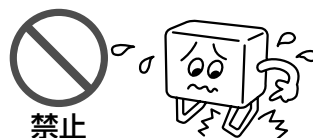
- **ぬれた手で、スイッチを操作しない**
  感電の原因になります。

- **エアコンの風が直接あたる所に、燃焼器具を置かない**
  燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

- **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない**
  コードの内部が断線して、発熱や発火の原因になることがあります。

…安全上のご注意

使用上の注意事項

⚠注意

- **長期間の使用で、傷んだままの据付台などで使用しない**
  室外機の落下につながり、けがなどの原因になります。

禁止

- **エアコンを水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせたりしない**
  漏電によって、感電や発火の原因になります。

禁止

- **動植物に直接風があたる場所には設置しない**
  動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

強制

- **掃除をするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く（またはブレーカーを “OFF” にする）**
  内部でファンが高速回転しておりますので、けがや故障の原因になります。

プラグを抜く

- **長期間使わない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く**
  ホコリがたまって発熱や発火の原因になることがあります。

禁止

- **室外機や室内機の上に乗ったり、物を載せたりしない**
  落下や転倒などにより、けがの原因になります。

禁止

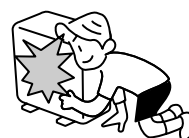
- **冷房・カラッと除湿時、窓や戸を開放した状態（部屋の湿度が80％を超えたまま）などで長時間運転したり、風向スイング運転で長時間運転をしない**
  上下風向板に露がつき、ときには露が落ち、家財を濡らす原因になります。

使用上の注意事項

⚠注意

● **能力以上の負荷（冷房・暖房能力以上の広い部屋や多勢の人が居るなど）で使用しない**
設定温度に達しないことや、露が落ちて家財を濡らす原因になることがあります。

● **エアコンの洗浄には専門技術が必要なため、お買い求めの販売店に相談する**
市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。また、洗浄剤が電気品やモーターにかかると、感電や火災の原因になります。

● **室外機の吸い込み口や底面、アルミフィンにさわらない**
けがの原因になります。

● **冷媒配管パイプや接続バルブにさわらない**
火傷の原因になります。

● **エアコンの清掃時には、手袋を着用する**
けがの原因になります。

移設・修理時の注意事項

⚠警告

● **修理は、お買い上げの販売店または、修理窓口に依頼する**
ご自分で修理をされ不備があると、感電や火災などの原因になります。

● **エアコンを移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼する**
ご自分で移動・再設置され、不備があると、感電や火災などの原因になります。

各部の名称と働き①（室内機／室外機）

室内機

表示部（☞10 11ページ）

ステンレスフィルター（内部にあります。）
空気中のチリやホコリなどをキャッチします。
（☞16 28ページ）

室内機操作部（☞9ページ）

上下風向板／左右風向板（上側吹き出し口）
（☞23ページ）

受信部
リモコンからの信号を受信します。

ダブルエアクリーナーフィルター
（☞16 32ページ）

電源プラグ

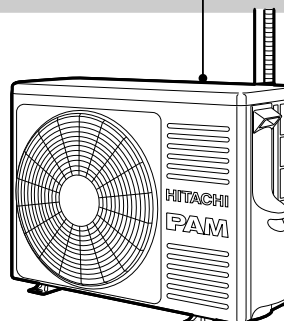
リモコン

下側吹き出し口

フロントパネル（吸い込み口）
（☞16 28ページ）

リモコン取付具

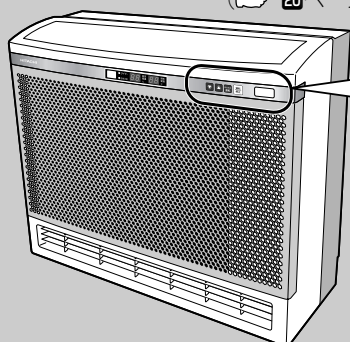
壁や柱にリモコンを固定するときに使います。

室外機

室外機について

- 運転を「停止」にしても、室外機のファンは電気部品を冷やすために10～60秒間回り続けます。
- 暖房時には、室外機より凝縮水や霜取り時の水が流れ出ます。
  寒冷地ではこれらの水が氷結してしまうこともありますので、室外機に設けてある排水口をふさがないでください。

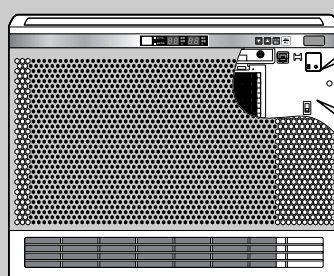
各部の名称と働き②（室内機操作部）

室内機操作部

■ 主操作ボタン

フロントパネル内側操作部

■ フロントパネルの内側にあります。
（フロントパネルの開きかたは☞ 16ページ）

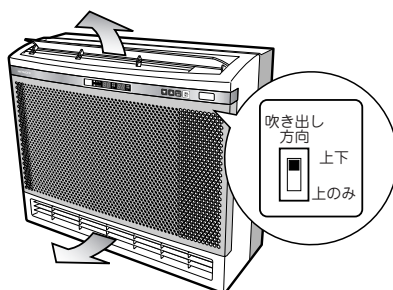
☆**電源スイッチが入っていると運転していなくても、制御回路内で電気を消費します。**
電源スイッチ（室外機より電源を取っている場合はブレーカー）を切ることで、節電効果があります。

☆**電池切れなどで、リモコンが使えないとき、応急運転スイッチを押すと、応急運転を行います。**
応急運転は、前回の運転内容で運転します。
（但し、電源スイッチを入れた直後は暖房・カラッと除湿・冷房のいずれかの運転を行います。）

⚠注意
長期間使わないときは、電源スイッチを「切」にする。
なお、室外機から電源を取っている場合は、必ずブレーカーを切る。

吹き出し方向切換スイッチについて

■ 吹き出し方向切換スイッチを“上下”にすると

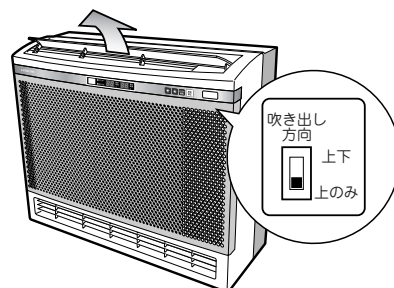
暖房時

- 運転開始後、吹き出す風が暖かくなると、下側吹き出し口のダンパーが自動的に開き、下側吹き出し口からも温風を吹き出します。
- 室温が設定室温に近づくと、自動的に上側吹き出し口からの風が弱くなります。
- 室温が設定温度に達するとダンパーを閉じ、上側吹き出し口からのみ、ごく弱い風を吹き出します。

冷房時

- 風速「自動」および「強風」で運転開始時、設定温度と室温の差が大きいと、下側吹き出し口のダンパーが自動的に開き、下側吹き出し口からも冷風を吹き出します。室温が設定温度に近づくと自動的に上側のみ吹き出しになります。

カラッと除湿運転時

- 除湿効果を高めるため、下側吹き出し口のダンパーは閉じたままとなります。

■ 吹き出し方向切換スイッチを“上のみ”にすると

- 暖房時、冷房時とも下側吹き出し口のダンパーが閉じたままとなり、風は上側吹き出し口からのみとなります。
- おやすみになるときなど、下側吹き出し口からの風が顔などに当たるときは、“上のみ”にして、上側だけから吹き出させることができます。

各部の名称と働き③（室内機表示部）

室内機表示部

運転モニターランプ（運転の種類により、点灯する色が変わります。）

運転の種類		点灯する色	
エアコン基本運転	暖房運転	赤色	
エアコン基本運転	カラッと除湿運転	緑色	
エアコン基本運転	冷房運転	青色	
内部クリーン運転		紫色	
空気清浄運転		水色（エアコン基本運転と併用しないとき）	エアコン基本運転との併用時は、エアコン基本運転の種類の色

- 電源スイッチを入れた後に初めて室内機の［運転/停止］ボタンで運転された際、最適な運転の種類を決定するまでの間は、［赤色→緑色→青色］の順番に点灯し、運転の種類が決定したら運転の種類に応じた色に点灯します。
- 応急運転スイッチを押すと、前回の運転内容で運転します。但し、電源スイッチを入れた後に初めて押された場合は、電源スイッチを入れた後に初めて室内機の［運転/停止］ボタンで運転されたときと同じ動作をします。

■ 暖房運転時、次の場合に「運転モニター」ランプ（赤色）が点滅します。（故障ではありません。）

予熱運転	運転開始後の2～3分間で室内機の熱交換器を暖めます。
霜取り運転	室外機の熱交換器に霜が付くと一旦、暖房運転を停止し、霜取り運転を行います。（ご使用条件により、霜取り運転に入るひん度が変わります。）
オートフレッシュ除霜運転	運転を停止したときに、室外機の熱交換器に霜が付いていたら、霜取り運転を行います。

☆「運転中室内機表示部が明るく感じるときは」、☞31ページをご覧ください。

設定室温表示部

■ リモコンまたは室内機ボタンで設定された室温を表示します。

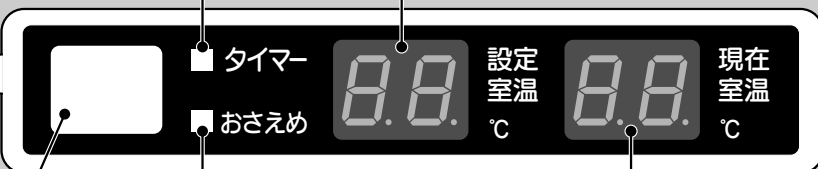
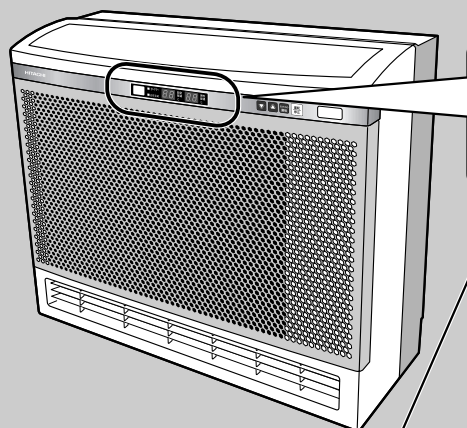
設定温度表示可能範囲：10～32℃（☞17 18ページ）

但し、次のような場合は以下の表示となります。

- 電源スイッチを入れた後、初めて室内機の［運転停止］ボタンで運転された場合、暖房、カラッと除湿、冷房、いずれかの運転になります。

  運転の種類が確定するまでの間は［■タイマー ■おさえめ ⊏⊐ 設定室温℃ ⊏⊐ 現在室温℃］と表示されます。

  運転の種類が確定すると暖房の場合「23℃」、カラッと除湿の場合「室内機読みとり室温」、冷房の場合「27℃」で表示されます。

※エアコン停止中は温度表示されません。

現在室温表示部

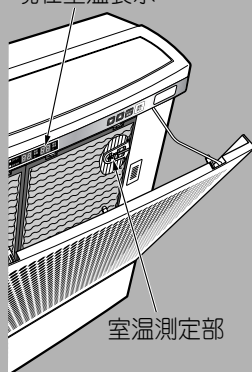
■ 室内機で読みとった室温を表示します。

現在室温表示可能範囲：00～49℃（0℃以下は全て「00」と表示されます。）

但し、次のような場合は以下の表示となります。

- 電源スイッチを入れた後、初めて室内機の［運転停止］ボタンで運転された場合は、設定室温表示部と同様に運転の種類が確定するまでの間は

と表示されます。

  運転の種類が確定すると現在室温を表示します。

現在室温の表示は、目安です。

- 表示する現在室温は室温測定部で読みとった数値ですので、お部屋の温度計とは数値が異なることがあります。
- 運転開始時、設定温度に達し運転を停止したとき、霜取り運転中は、実際の室温と大きく異なることがあります。
- エアコンの据付場所、周囲状況、ステンレスフィルターの汚れなどにより、実際の室温と大きく異なることがあります。

※エアコン停止中は温度表示されません。

☆電源スイッチを入れた直後の約2秒間は、以下の表示をして電源が入ったことをお知らせします。

各部の名称と働き④（リモコン）

リモコン

■ 運転内容、タイマー予約内容などを室内機に送信します。

●図の液晶表示は、リセットスイッチを押した直後の表示を示します。通常すべて表示されることはありません。本ルームエアコンには無い機能も表示されます。

運転を開始することのできるボタン

運転／停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。
（☞ 17ページ）

暖房ボタン
暖房運転を開始します。
（☞ 19ページ）

カラッと除湿ボタン
カラッと除湿運転を開始します。（☞ 19ページ）

冷房ボタン
冷房運転を開始します。
（☞ 20ページ）

おやすみタイマー運転ボタン
おやすみタイマー運転を開始します。
（☞ 27ページ）

送信部

HITACHI

運転　停止　暖房　カラッと除湿　冷房　室温　湿度　風向　風速　おやすみ

送信マーク
送信したとき、点灯します。

室温設定ボタン
室温を設定します。押し続けると早送りになります。
（☞ 17ページ）

湿度設定ボタン
カラッと除湿運転時の湿度を設定します。
（☞ 17ページ）

風速切換ボタン
風速を選びます。
（☞ 17ページ）

自動風向ボタン
上下風向板をスイングさせたり、お好みの角度に変えます。（☞ 23ページ）

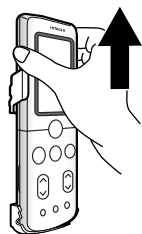
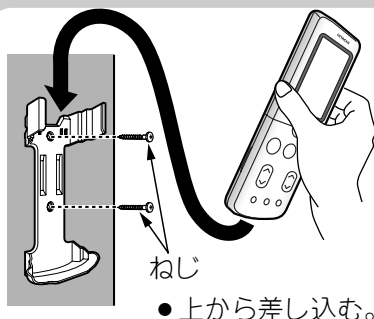
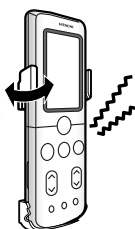
■ リモコンは、付属の取付具で柱や壁などに取り付けて使うこともできます。

取り付ける場所で、事前に送信できることを確かめてから取り付けてください。

●上から差し込む。

●外すときはリモコンの上部を持って引き抜く。

●リモコンを左右にねじって取り外さないでください。裏ぶたが外れる場合があります。

（扉を開けた状態）

おさえめ運転ボタン

エアコン運転中に押すとおさえめ運転に切換わります。
（☞ 20ページ）

運転を開始することのできるボタン

空 清 ボ タ ン

空気清浄（送風）運転（☞ 22ページ）を開始します。

内部クリーンボタン

内部クリーン運転を開始します。（☞ 22ページ）

リセットスイッチ

電池交換した後や、動作が正常でないときに押してください。（☞ 14ページ）

現在時刻ボタン

現在時刻のセットと確認に使います。
（☞ 14ページ）

リ モ コ ン 形 名

エアコン形名とリモコン形名の組み合わせは右記のとおりです。

エアコン形名	リモコン形名
RAF-36X形 RAF-40X2形 RAF-50X2形	RAR-3R3

運転切換ボタン

運転の種類を選びます。
（☞ 17ページ）

タイマー合わせ部

1回/毎日予約選択ボタン

タイマー予約後に1回押すと毎日予約、もう1回押すと1回予約になります。

切タイマーボタン

切タイマーをセットするときに押します。

入タイマーボタン

入タイマーをセットするときに押します。

予 約 ボ タ ン

タイマー予約の内容を室内機に予約します。

取 消 ボ タ ン

タイマー予約を取消します。

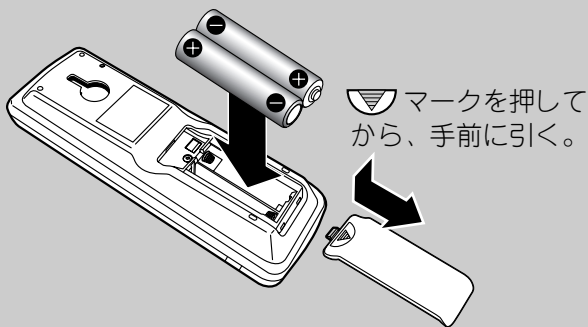
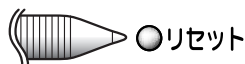
時 刻 ボ タ ン

現在時刻をセットするとき、タイマー予約のときに押します。

（☞ 14、24～27ページ）

リモコンの準備をしてください

1 乾電池を入れる

● 単4形乾電池を2本お使いください。

2 扉をあけて、先の細いものでリセットスイッチを押す

3 現在時刻を合わせる（午後1:30 に合わせる場合の例）

 時刻 ボタンを押して、現在時刻を合わせる

● 押し続けると早送りになります。

午後 1:30

 時刻合わせ ボタンを押して、現在時刻を設定する

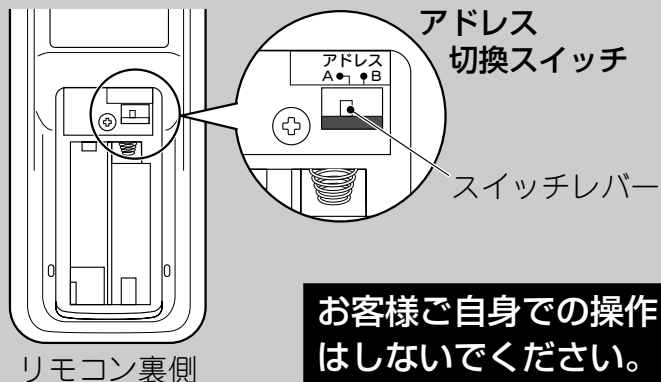
● "午前"または"午後"の点滅表示が点灯表示に変わり、10秒後自動的に消えます。

午後 1:30

現在時刻の確認のしかた

● 時刻合わせ ボタンを押してから、現在時刻の確認を行い、必要に応じて ① で修正を行ってから ② を行ってください。

アドレス切換スイッチについて

● アドレス切換スイッチは、2台の室内機を同じ部屋に据え付けたときなど、リモコンの混信を防ぎたいときに使用しますので、通常は使用しません。
（工場出荷時は「A」側に設定されています。）
なお、設定のしかたについてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お客様ご自身での操作はしないでください。

リモコンを操作するとき

- **操作は、室内機の受信部に向けて。**
  受信できる距離は、正面で約7m。ただし、室内に電子点灯形の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあり、場合によっては信号を受け付けないことがあります。
- **リモコンはていねいに扱ってください。**
  落としたり、水がかかったりすると送信できなくなる場合があります。電源を入れた直後の10秒間程度は、リモコン操作をしても信号を受け付けません。

乾電池について

- 乾電池をご使用のとき、乾電池の寿命は、普通の使いかたで約1年です。
  (ただし、乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、乾電池の交換が早くなる場合があります。)
  付属の乾電池はモニター用です。
- 液晶表示がうすくなったら乾電池を取り換えてください。
- 乾電池を交換した後や、動作が正常でない場合は、必ずリセットスイッチを押してください。

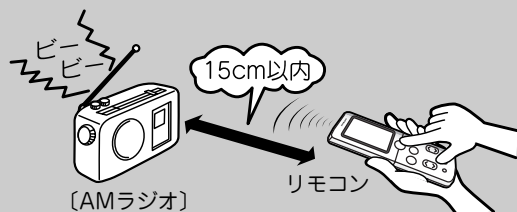
- 乾電池を誤って使うと、液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、次の点に特に注意してご使用ください。

(1)乾電池の＋(プラス)、－(マイナス)の向きは器具の表示どおりに正しく入れてください。
(2)新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
(3)長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
万一液漏れしたときは、よく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。

- **乾電池以外の異物を入れないように注意してください**
  発熱等の故障の原因になります。

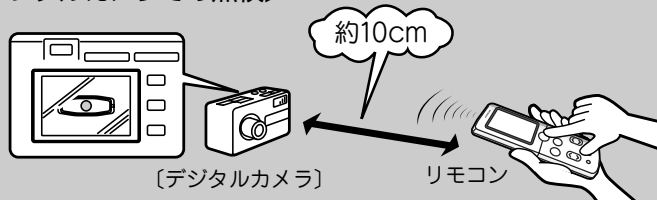
■ 新しい乾電池と交換しても動作が正常でない場合は、リモコンの点検をしてください。

リモコンの点検

〔AMラジオでの点検〕

リモコンを操作したとき **雑音(ビービー音)** が入れば正常です。

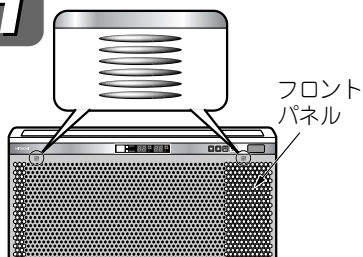
〔カメラ付き携帯電話での点検〕

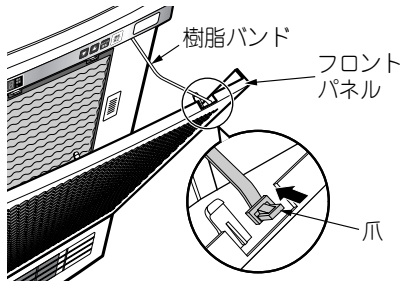
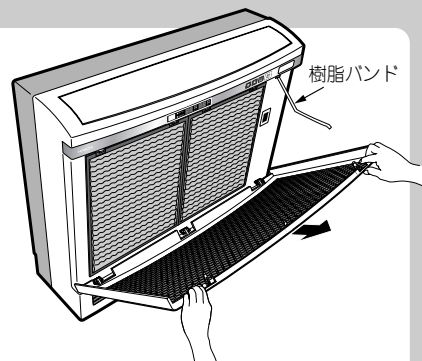
①リモコンの送信部が映るようにセットしてください。
②リモコンを操作したとき
モニターに送信部が発光 すれば正常です。

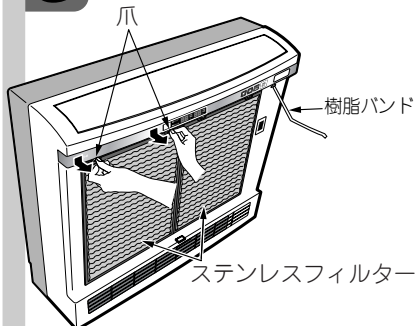
〔デジタルカメラでの点検〕

①リモコンの送信部が映るようにセットしてください。
②リモコンを操作したとき
モニターに送信部が発光 すれば正常です。

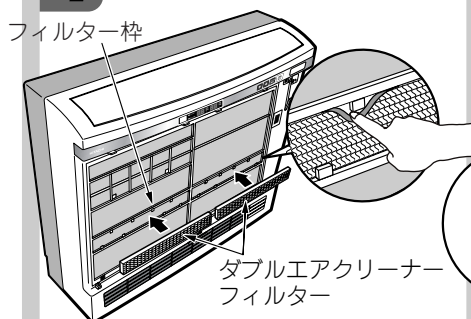
ダブルエアクリーナーフィルターの取り付けをしてください

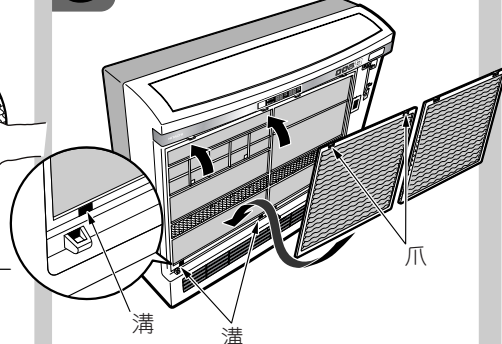
■ リモコン、または本体ボタンで運転を停止してから行ってください。
■ フロントパネルの着脱は必ず両手で行ってください。

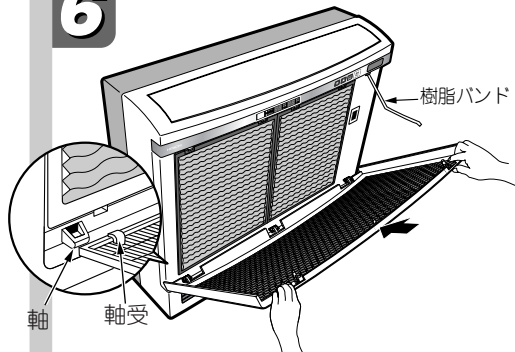
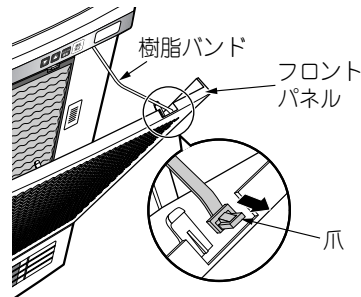
1 フロントパネルを開ける

● フロントパネル上部両端にある「≣」マーク部を押し、フロントパネルを手前に引きます。

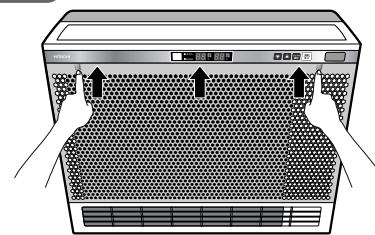
2 フロントパネルを取り外す

● フロントパネル右内側に付いている樹脂バンド先端の爪を押し、フロントパネルを押さえながら、樹脂バンドを矢印方向に引き抜きます。

● フロントパネルの両側を持ち、上方向に引いてフロントパネルを外します。

3 ステンレスフィルターを取り外す

● 左右2枚それぞれのステンレスフィルター上部両端にある爪を押し下げながら、手前に引き出し持ち上げてステンレスフィルターを取り外します。

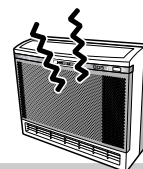
4 ダブルエアクリーナーフィルターを取り付ける

● ダブルエアクリーナーフィルターをフィルター枠に収納します。

5 ステンレスフィルターを取り付ける

● ステンレスフィルターは[上]表示のある方を上にして、下部2ヵ所の溝にステンレスフィルターの突起部を差し込み、上部2ヵ所の爪を「カチッ」と音がするまで押し込んで取り付けます。

6 フロントパネルを取り付ける

● フロントパネルの軸にフロントパネルの軸受3ヵ所を差し込みます。（「≣」マークが上側になるように取り付けます。）

● フロントパネル右上の樹脂バンド先端を矢印方向に押し、フロントパネルの角穴部に差し込みます。（樹脂バンドを矢印と逆方向に引っ張り、爪がかかって抜けないことを確認してください。）

7 フロントパネルを閉じる

● フロントパネル上部両端にある「≣」マーク部を「カチッ」と音がするまで押し付け、最後に中央部を押し、フロントパネルを平らに閉じます。

⚠注意

● フロントパネルが、がたついているとパネルが外れ、落下するおそれがあります。
● フロントパネルを下側におろしたとき、無理に力を入れないでください。
フロントパネルが本体から外れたり、故障の原因になります。
● ステンレスフィルターを外したまま運転しないでください。
機械にホコリが入り、故障の原因になります。
● ステンレスフィルターの取り外し・取り付けの際、熱交換器のフィンで手などを切らないように十分ご注意ください。

リモコンで選んで運転（暖房・カラッと除湿・冷房）

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと ☞ 29 30 ページ）

1 運転の種類を選ぶ 1☞ 運転切換

- 暖房・カラッと除湿・冷房のいずれかを選べます。
- 送風運転をするには、空気清浄（送風）運転（☞ 22 ページ）をしてください。
- 運転中に 運転切換 ボタンを押した場合 “ピッ” と受信音がします。

2 風速のセット 2☞ 風速

- 自動・強・弱・微・静のいずれかを選べます。
  風速の表示は運転を開始しないと、約10秒後に消えます。
- 運転中に 風速 ボタンを押した場合、自動のときは “ピピッ”、その他は “ピッ” と受信音がします。

3 室温のセット 3☞ 室温 ◀上がる ◀下がる

- 室温の表示は運転を開始しないと、約10秒後に消えます。
- 運転中に 室温 ボタンを押した場合、20℃のときは “ピピッ”、30℃のときは “ピピピッ”、その他は “ピッ” と受信音がして室内機設定室温表示部の温度表示が切換わります。

※設定温度の上下限に達してから更に押すと “ピピッピピッ” とした受信音で、それ以上設定温度が上下しないことをお知らせします。

■ リモコン設定温度範囲

暖房・冷房	16～32℃
カラッと除湿	10～32℃

4 湿度のセット（カラッと除湿のみ） 4☞ 湿度 ◀上がる ◀下がる

- **5%刻みで設定できます。**
- 湿度の表示は運転を開始しないと、約10秒後に消えます。

■ 設定湿度範囲

40～70%

5 運転開始 5☞ 運転 停止 ボタンを押す

- “ピッ” という受信音がして、運転を開始します。
- 室内機表示部の「運転モニター」ランプ、設定室温、現在室温が点灯および表示されます。

停止　もう一度、運転 停止 ボタンを押す

- “ピー” という受信音がして、運転を停止します。
- 次回からは 運転 停止 ボタンを押すだけで、上記 1 ～ 5 でセットした同じ内容で運転ができます。

この部分のいずれかが点灯します。

この部分のいずれかが点灯します。

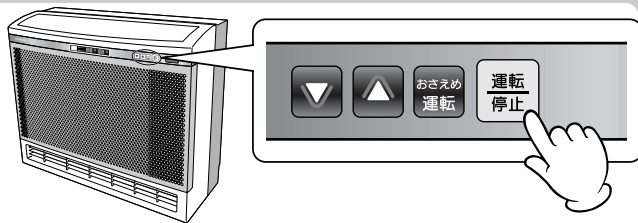
この部分が点灯します。

この部分が点灯します。

基本的な使い方

室内機ボタンで運転

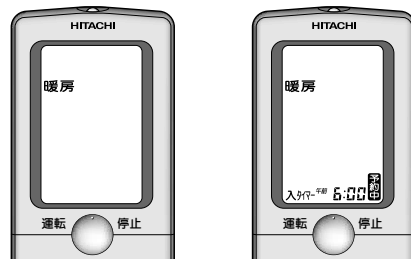
1 運転開始 ボタンを押す

- "ピッ"と操作音がして、運転を開始します。
- 室内機表示部の「運転モニター」ランプ、設定室温、現在室温が点灯および表示されます。

〈運転のしくみと知っておいていただきたいこと〉

- 運転内容は前回の運転となります。
  （但し、電源スイッチを入れた後初めて運転の場合は、暖房、カラッと除湿、冷房のいずれかの運転となります。このとき「運転モニター」ランプは運転の種類が確定するまでの間は 赤色→緑色→青色 の順番に点灯し、運転の種類が確定したら、運転の種類に応じた色に点灯します。）

■ リモコン停止状態表示例

- タイマー予約無のとき

- タイマー予約有のとき

- リモコンに運転内容は、反映されません。
  （リモコンは停止状態〈右図〉になっています。）
- リモコンを操作されると、エアコンの運転内容とリモコン表示が一致していないため、エアコンが停止することがあります。

2 室温のセット

   ボタンを押す

下がる 上がる

■ 設定温度範囲

暖房・冷房	16～32℃
カラッと除湿	10～32℃

- ▽△ ボタンを押し、設定室温をお好みの温度に変更します。
  20℃のときは"ピピッ"、30℃のときは"ピピピッ"、その他は"ピッ"と操作音がします。

※設定温度の上下限に達してから、更に押すと"ピピッピピッ"とした操作音で、それ以上設定温度が上下しないことをお知らせします。

☆運転の種類・風速および湿度のセット（湿度はカラッと除湿のみ）を変更したい場合

- 運転/停止 ボタンを押して、一度エアコンを停止させてから、リモコンで運転の種類選択、風速の切換え、湿度調節（☞ 17ページ）を行い、リモコンで運転再開を行ってください。

停止 もう一度、運転/停止 ボタンを押す

- "ピー"と操作音がして、運転を停止します。
- もう一度 運転/停止 ボタンを押すと、前回内容で運転します。

■ 次の運転条件でご使用ください。

暖　　房	カラッと除湿	冷　房
●外気温　－20℃以上 21℃以下 （－20℃未満のときや24℃を超えるときは、機械保護のため、運転しないことがあります。）	●外気温　1℃以上 35℃以下 （室温1℃以下では運転しません。）	●外気温　22℃以上 43℃以下

- 冬季に冷房運転を行わないでください。

リモコンの 暖房 ボタンで運転

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと ☞ 29 30 ページ）

■ 暖房 ボタンを押すと、“暖房”運転を行います。

☞ 暖房 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、暖房運転を開始します。
- 室内機表示部の「運転モニター」ランプが赤色に点灯および設定室温、現在室温が表示されます。
- **お好みに応じて、室温の調節、風速の切換え（☞ 17ページ）ができます。**
  設定できる温度の範囲は16℃〜32℃です。

停止 **リモコンの 運転 停止 ボタン または 室内機の 運転/停止 ボタンを押す**

- “ピー”という受信音、操作音がして、暖房運転を停止します。

リモコンの カラッと除湿 ボタンで運転

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと ☞ 29 30 ページ）

■ カラッと除湿 ボタンを押すと、3種類の“カラッと除湿”運転を行います。

☞ カラッと除湿 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、カラッと除湿運転を開始します。
- カラッと除湿 ボタンを押すたびに、右のように種類が切換わります。
- 室内機表示部の「運転モニター」ランプが緑色に点灯および設定室温、現在室温が表示されます。
- **“カラッと除湿”はお好みに応じて、室温・湿度の調節、風速の切換え（☞ 17ページ）ができます。**
- **“快速ランドリー”、“けつろ抑制”はお好みに応じて風速の切換え（☞ 17ページ）ができます。**
  （室温・湿度の調節はできません。）
  おさえめ運転はできません。

カラッと除湿 → 快速ランドリー → けつろ抑制

■ 通常「カラッと除湿」のとき

運転モニターランプ 点灯（緑色）

■「快速ランドリー」&「けつろ抑制」のとき

停止 **リモコンの 運転 停止 ボタン または 室内機の 運転/停止 ボタンを押す**

- “ピー”という受信音、操作音がして、カラッと除湿運転を停止します。

- “快速ランドリー”と“けつろ抑制”運転のときは、室内機設定室温表示部は何も表示されません。

リモコンの 冷房 ボタンで運転

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと ☞ 29ページ）

■ 冷房 ボタンを押すと、“冷房”運転を行います。

冷房 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、冷房運転を開始します。
- 室内機表示部の「運転モニター」ランプが青色に点灯および設定室温、現在室温が表示されます。
- **お好みに応じて、室温の調節、風速の切換え（☞ 17ページ）ができます。**
  設定できる温度の範囲は、16℃～32℃です。

停止

リモコンの 運転 停止 ボタン または 室内機の 運転/停止 ボタンを押す

- “ピー”という受信音、操作音がして、冷房運転を停止します。

おさえめ運転をするには

■ 暖房、カラッと除湿、冷房、空気清浄運転中に おさえめ ボタンまたは おさえめ運転 ボタンを押すとおさえめ運転を行います。
■ おさえめ運転時は、エアコンは弱運転となります。

運転中にリモコンの おさえめ ボタン または 室内機の おさえめ運転 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音、操作音がして、おさえめ運転に切換わります。
- 室内機の「おさえめ」ランプが緑色に点灯します。
- リモコンで設定した場合、リモコンの おさえめ が点灯します。
- **“快速ランドリー”と“けつろ抑制”運転中はおさえめ運転できません。**
- おやすみタイマー予約中はリモコンの おさえめ ボタン、室内機の おさえめ運転 ボタンは受付けません。

取消し

リモコンの おさえめ ボタン または 風速 ボタン または 室内機の おさえめ運転 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音、操作音がして、設定前の運転に戻ります。

- リモコンで設定して、室内機ボタンで「おさえめ運転」を取消した場合、リモコンの おさえめ は消えません。
- エアコンの運転を停止すると「おさえめ運転」は解除になります。

チャイルドロックをするには

■ お子様の室内機ボタンのいたずら操作を防止します。

室内機の おさえめ運転 ボタンを3秒以上押す

- “ピー”という操作音がして、室内機ボタン操作を受け付けなくなります。（チャイルドロック）
- チャイルドロックが設定されると、室内機設定室温表示部に c l が点灯します。
- **内部クリーン運転中は、チャイルドロック設定できません。** 内部クリーン運転中にチャイルドロック設定したい場合は、内部クリーン運転前にチャイルドロック設定をしてください。

■ 停止中の表示

■ 運転中の表示例

■ タイマー
■ おさえめ
c l
設定
室温
℃
25
現在
室温
℃

取消し

もう一度、室内機の おさえめ運転 ボタンを3秒以上押す

- “ピー”という操作音がして、室内機のチャイルドロックが解除されます。
- 室内機設定室温表示部の c l が停止中は消灯し、運転中は設定室温表示に戻ります。

☆チャイルドロック設定中のリモコン操作は可能です。

- エアコン運転中で、チャイルドロック設定中にリモコン操作をした場合、室内機設定室温表示部は設定室温を約10秒間表示します。
  その後、また c l の表示に戻ります。

空気清浄（送風）運転をするには

■ 空清 ボタンを押すと、空気清浄（送風）運転を行います。

空清 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、リモコンに 空清 が点灯して空気清浄（送風）運転を開始します。
- 室内機の「運転モニター」ランプが水色に点灯します。
  （現在室温表示部に現在室温が表示されます。設定室温表示部には何も表示されません。）
  但し、チャイルドロック中は設定室温表示部に c1 表示されます。
- お好みに応じて、風速の切換えができます。
  強・弱・微・静のいずれかを選べます。

☆**室内機の 運転/停止 ボタンで運転されているとき、空清 ボタンを押すと、“ピッ”という受信音がして空気清浄（送風）運転に切換わります。**

停止　リモコンの 運転 ◯ 停止 ボタン または 室内機の 運転/停止 ボタンを押す

- “ピー”という受信音、操作音がして、空気清浄（送風）運転を停止します。

■ **リモコンで暖房・カラッと除湿・冷房運転を開始したとき、空清 ボタンを押すと、エアコンのファンの風速を上げて空気清浄能力を増した運転を行います。**
（運転条件によっては、エアコンのファンの風速が上がらないことがあります。）

- “ピッ”という受信音がして、リモコンに 空清 が点灯して風速が上がります。
- 室内機表示部の「運転モニター」ランプは、運転の種類の色のままで変わりません。

取消し　もう一度、空清 ボタンを押す（暖房・カラッと除湿・冷房運転時）

- “ピッ”という受信音がして、リモコンの 空清 が消灯し、設定前の風速に戻ります。

内部クリーン運転をするには

■ **冷房シーズンの終わりのときに、内部クリーン運転を行うと、室内機熱交換器を乾燥させカビの発生を抑えます。**
（発生したカビを除去する働きや、殺菌効果はありません。）

停止中に 内部クリーン ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、リモコンに 内部クリーン が点灯し、内部クリーン運転を開始します。
- 内部クリーン運転中は、室内機表示部の「運転モニター」ランプが紫色に点灯します。
  （設定室温および現在室温表示部には何も表示されません。）
  但し、チャイルドロック中は設定室温表示部に c1 表示されます。
- 約30分の運転を行って自動的に停止します。リモコンの 内部クリーン は、運転開始後約30分後に消灯します。
- リモコンで運転開始したとき、タイマー予約中は設定できません。

☆**室内機の 運転/停止 ボタンで運転されているとき、内部クリーン ボタンを押すと、“ピッ”という受信音がして内部クリーン運転に切換わります。**

停止　リモコンの 運転 ◯ 停止 ボタン または 内部クリーン ボタンを押す
または 室内機の 運転/停止 ボタンを押す

- “ピッ”または“ピー”という受信音、操作音がして、内部クリーン運転を停止します。

便利な使い方

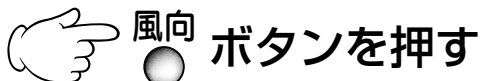
風向の調節をするには

■ 上下の風向（上側吹き出し口のみ）

● **必ずリモコンで操作してください。（手で動かすと、故障の原因になります。）**

自動セット

● 運転の種類に応じた風向に自動的にセットします。
通常、上下の風向操作は特に必要ありません。

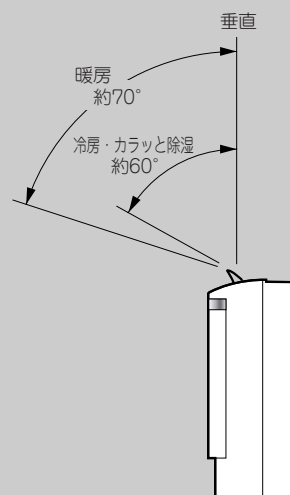
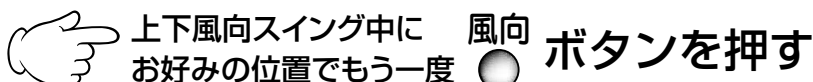
上下風向スイング

風向 ボタンを押す

● 風向 ボタンを押すと、"ピッ"という受信音がして、上下風向板がスイングを繰り返します。
● 運転を停止するとスイングは止まり、吹き出し口を閉じます。
再び運転すると、運転の種類に応じた風向に自動セットされます。
● スイングを設定した場合でも、お部屋の温度・湿度によっては、上下風向板のスイングを停止することがあります。（下記参照）

（風向板が動き出すまで6秒ぐらい時間がかかることがあります。
これは風向板の位置を正しくセットする確認動作のためです。）

注意

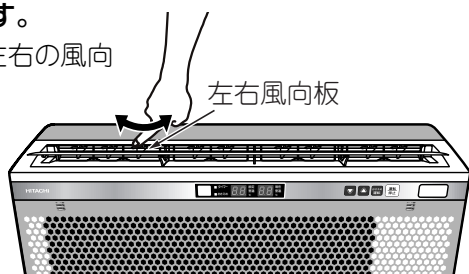
● **冷房運転時に、長時間スイングにしたまま運転しないでください**
長時間このような運転をしますと、上下風向板に露が付き、ときには露が落ちて家財などを濡らす原因になります。

垂直
暖房 約70°
冷房・カラッと除湿 約60°

上下お好み風向

上下風向スイング中に
お好みの位置でもう一度 風向 ボタンを押す

● 上下の風向をお好みの角度にしたいときは、風向 ボタンで上下風向板を動かし、お好みの位置になったら、もう一度 風向 ボタンを押して止めてください。
なお、暖房時は効率よくお部屋を暖めるために、できるだけ水平に近い位置でお使いください。
● 運転を停止すると吹き出し口を閉じますが、再び運転すると前回選んだ位置のままでセットされます。
ただし、電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜いた後、運転すると上下風向板は自動的にセットされます。
● 運転を切換えると、運転の種類に応じた風向に自動セットされます。

便利な使い方

■ 左右の風向（上側吹き出し口のみ）

● **手で操作します。**
● 図のように、左右の風向を調節します。

■ 次のとき、上下風向スイングを設定した場合でも、スイングが停止します。

暖房運転時	カラッと除湿運転時
● 予熱運転中 ● 霜取り運転中 ● 室温が設定温度になったとき	● 湿度が設定湿度になったとき ● 室温が1℃以下のとき

タイマー予約運転をするには

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと ☞ 30ページ）

■ タイマーは「切タイマー」⇄「入タイマー」、「切タイマー」、「入タイマー」の3種類の使いかたができます。
予約は、その内の1種類のみです。

（● 運転の種類、室温、風速の設定は ☞ 17ページをご覧ください。）

タイマー予約のしかた

「切タイマー」を予約する場合 ……………………………

「切タイマー」は、セットした時刻に運転を停止させます。

「入タイマー」を予約する場合 ……………………………

「入タイマー」は、セットした時刻に設定室温となるよう運転を開始します。
運転開始時刻は室温、設定室温等、条件により最大60分前に運転を開始します。

「切タイマー」⇄「入タイマー」予約のしかた

■ 現在時刻（タイマー予約をした時刻）を基準にして、セット時刻が早い方から先に作動します。
（必ず現在時刻を確認してください。）（☞ 14ページ）

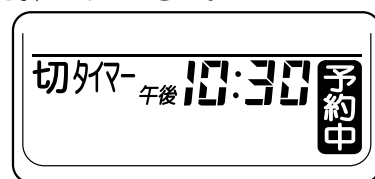
切タイマー ボタンを押す

- 「切タイマー」が点滅します。
- 午前0:00または前回の予約時刻が表示されます。

時刻 ボタンを押して時刻をセット

- 時刻は10分単位です。
- 押し続けると、早送りになります。

3 予約 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、「切タイマー」が予約されます。
- 「切タイマー」の点滅が点灯に変わり、“予約中”が表示されます。
- 室内機表示部の「タイマー」ランプが点灯します。
- 「切タイマー」時刻を変更したい場合は、もう一度 1 にもどって 切タイマー ボタンを押してください。

タイマー予約の取消しかた

取消 ボタンを押す

（“ピピッ”という受信音がして、全てのタイマー予約が取消され、室内機表示部の「タイマー」ランプが消灯します。）

- 空清 ボタンで運転したときは、時刻で設定する「切タイマー」／「入タイマー」は予約できません。
- タイマー予約内容を繰り返し使いたいときは、毎日予約ができます。（☞ 26ページ）
- 一度セットした時刻はリモコンが記憶していますので、前回と同じ時刻を予約したいときは、予約 ボタンを押すだけで、同じ時刻が予約されます。

〈例：午後10:30に運転を停止させ、午前7:00にお好みの室温になるようセットする場合〉

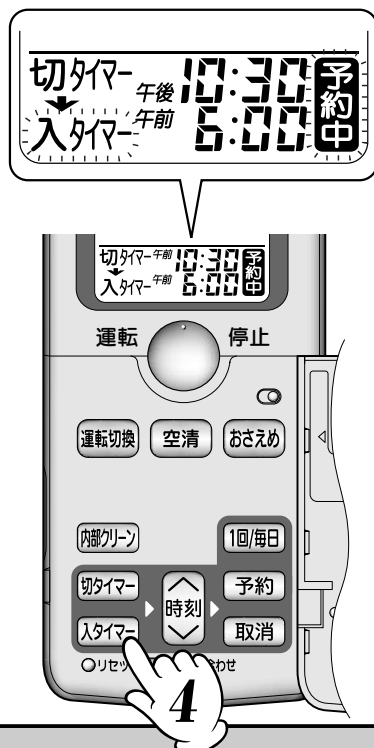
入タイマー ボタンを押す

- 「入タイマー」が点滅します。
- 午前6:00または前回の予約時刻が表示されます。
- ⬇⬆ 表示は「切タイマー」、「入タイマー」の動作順序を表わします。

時刻 ボタンを押して時刻をセット

- 時刻は10分単位です。
- 押し続けると、早送りになります。

◀時刻が進む
◀時刻が戻る

切タイマー 午後 10:30 予約中
入タイマー 午前 7:00

予約 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、「入タイマー」が予約されます。
- 「入タイマー」の点滅が点灯に変わり、“予約中”が表示されます。
- 室内機表示部の「タイマー」ランプが点灯します。
- 「入タイマー」時刻を変更したい場合は、もう一度 4 にもどって 入タイマー ボタンを押してください。

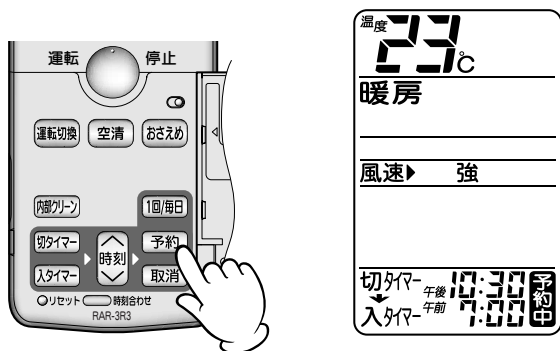
便利な使い方

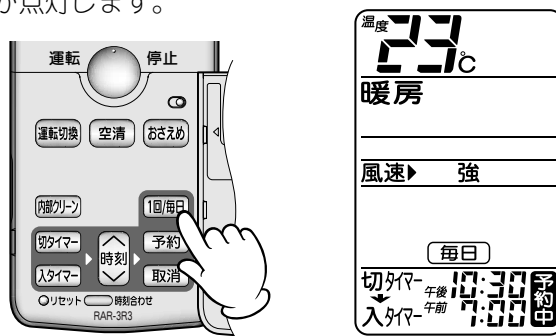
更に便利なタイマーの使いかた

■ タイマー予約後、1回/毎日ボタンを押すと毎日予約ができます。

毎日タイマー予約の使いかた

● 「切タイマー」、「入タイマー」、「切タイマー」⇄「入タイマー」をセット後、選択できます。
★下の表示は、暖房運転の「切タイマー」⇄「入タイマー」予約後、毎日タイマー予約を行った場合です。

1 「切タイマー」⇄「入タイマー」を予約する

2 1回/毎日ボタンを押す

● "ピッ"という受信音がして、リモコンに 毎日 が点灯します。

取消し もう一度、1回/毎日ボタンを押す

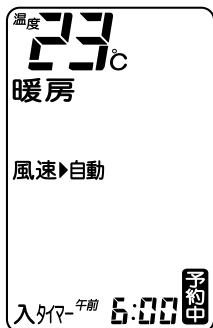
● "ピッ"という受信音がして、リモコンの 毎日 が消灯し、1回予約に戻ります。

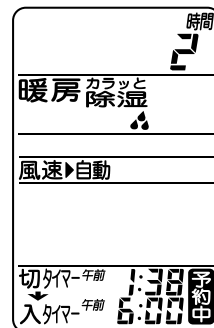
■ カラッと除湿運転（けつろ抑制）と暖房運転の「入タイマー」を同時にセットできます。
これによりカラッと除湿運転（けつろ抑制）で翌朝の結露を抑え、暖房の「入タイマー」によりお目覚め時にお部屋を暖めておくことができます。

「入タイマー」とカラッと除湿ボタンの組み合わせ

● 就寝前に、カラッと除湿運転の（けつろ抑制）と、翌朝の「入タイマー」をセットして、暖房運転を行うなどの組み合わせタイマーが設定できます。
★下の表示は、暖房運転の「入タイマー」予約後、午後11:38にカラッと除湿運転（けつろ抑制）を行った場合です。
〔カラッと除湿運転（けつろ抑制）は、自動的に2時間で停止します。〕

1 「入タイマー」を予約する

● 「入タイマー」予約したときの運転は、「入タイマー」の時刻にほぼ設定室温になるよう、運転を開始します。タイマー予約をしたときには、設定状態を十分確認してください。

2 カラッと除湿ボタンを2回押す

● 2時間後の午前1:38にカラッと除湿（けつろ抑制）運転を停止し、午前6:00にほぼ設定室温になるように、暖房運転を開始します。

● カラッと除湿ボタンを3回押すとカラッと除湿運転が開始し、暖房予約が取消されます。誤って3回押してしまった場合は暖房ボタン→運転/停止ボタンの順に押した後、2を再度行ってください。

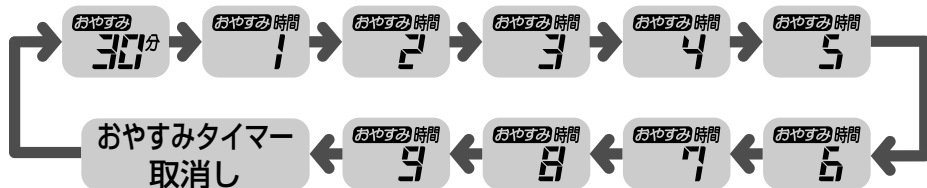
便利な使い方

おやすみタイマー運転をするには

（運転のしくみと知っておいていただきたいこと 30ページ）

■ 冷房等のエアコンの運転の場合は“風速”を就寝時に適した状態にし、指定した時間になると運転を停止するおやすみ専用の「切ﾀｲﾏｰ」運転です。

おやすみ ボタンを押す

- おやすみ ボタンを押すたびに下図のように変わります。（押し続けると早送りになります。）

- “ピッ”と受信音がして、おやすみ運転を開始します。リモコンの表示部に、おやすみタイマーの予約時間と、運転停止の時刻が表示されます。
- おやすみタイマーを設定すると、室内機の「タイマー」ランプが点灯します。
- おやすみ運転中の風速は、静に固定されます。

★表示は、午後11:38に2時間コースをセットした場合で、午前1:38に運転を停止します。

取消し

おやすみ ボタン または 取消 ボタンを押す

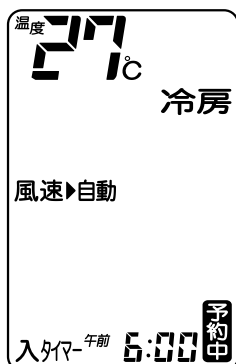
- “ピピッ”という受信音がして、おやすみタイマーが取消され、室内機「タイマー」ランプが消灯します。

- 「切ﾀｲﾏｰ」と「入ﾀｲﾏｰ」を組み合わせで設定されているとき、取消 ボタンで取消しすると、全ての予約が取消されますのでご注意ください。
- この様なときは、おやすみ ボタンを押して、リモコンの おやすみ を消す取消しを行ってください。

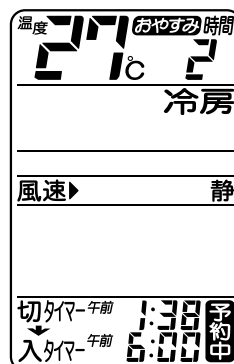
おやすみタイマー運転と「入ﾀｲﾏｰ」の組み合わせ

- おやすみタイマー運転で、運転を自動停止させた後、「入ﾀｲﾏｰ」で翌朝の運転を行うなどの組み合わせタイマーの設定ができます。「入ﾀｲﾏｰ」を予約したあとに、おやすみ ボタンを押してください。

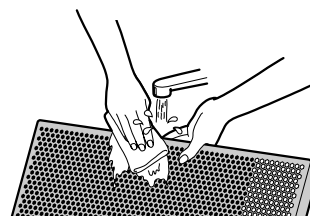
★下の表示は、「入ﾀｲﾏｰ」〔午前6:00〕を予約し、午後11:38におやすみ2時間コースをセットした場合です。

1 「入ﾀｲﾏｰ」を予約する

2 おやすみ ボタンを押す

- 2時間後の午前1:38に運転を停止し、午前6:00にほぼ設定室温になるように運転を開始します。
- おやすみタイマー運転の時間は「入ﾀｲﾏｰ」時刻前までの範囲で設定してください。

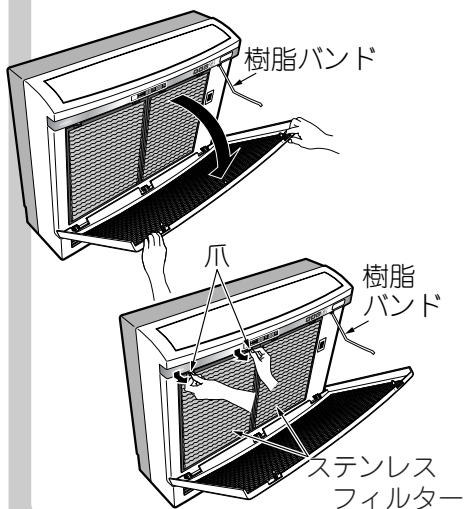
温度 27℃ おやすみ 時間 2
冷房
風速▶ 静
切ﾀｲﾏｰ 午前 1:38
入ﾀｲﾏｰ 午前 6:00 予約中

お手入れ（ステンレスフィルター・フロントパネル）

■ フロントパネルは丸洗いOK。清潔にお使いいただけます。

- フロントパネルは、取り外して丸洗いできます。
  やわらかいスポンジのようなもので洗い、中性洗剤を使った場合はよく水洗いをしてください。
- 水気をよく拭き取ってください。
  表示部に水気が残っていると故障の原因になります。
- フロントパネルを洗わないでお手入れする場合は、本体・リモコンなどとともに、やわらかい布で、から拭きしてください。
  化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

警告
- お手入れの前には、リモコンで運転を停止して、電源プラグを抜く（またはブレーカーを“OFF”にする）

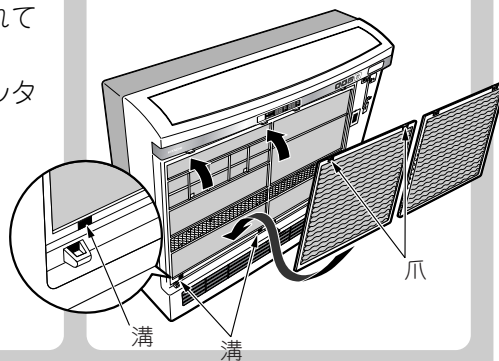
■ 必ずフィルターのお掃除を。電気代の節約にもなります。

1 フロントパネルを開け、ステンレスフィルターを取り出す

（フロントパネルの開閉のしかた ☞ 16ページ）

2 掃除機でホコリを吸い取る

- ステンレスフィルターの汚れがひどく掃除機で取れないときは、中性洗剤で洗ったあと、よく水洗いをして、陰干ししてください。
- お手入れするときは、市販のスポンジ（やわらかい面）で行ってください。たわしやブラシでこすると表面の金属膜がはがれてしまいます。
- ダブルエアクリーナーフィルターは使い捨てです。

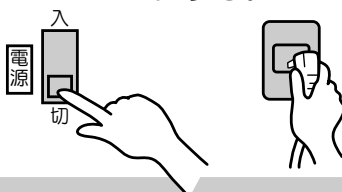
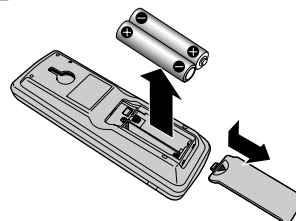
3 ステンレスフィルターを取り付ける

- ステンレスフィルターは「上」表示のある方を上にして取り付けてください。
- ステンレスフィルターを外したまま運転しないでください。機械にホコリが入り、故障の原因になります。

注意
- **本体に水をかけない** 感電の原因になります。
- **エアコン内部の清掃をする場合には、お買い求めの販売店に相談する**（☞ 37ページ）

長期間（1ヵ月以上）使わないときは、次の手順でお手入れを。

1 室内機の内部を乾かす

- 内部クリーン運転をしてください。（☞ 22ページ）
  内部がぬれたままで長期間使わないとカビが発生しやすくなります。

2 電源スイッチを“切”にして、電源プラグを抜く。または、ブレーカーを“OFF”にする。

3 リモコンの乾電池を取り出す

運転のしくみと知っておいていただきたいこと

風速 自動 について

暖房時	●吹き出す風の温度に応じて自動的に風速が変わります。 ●設定温度になると、ごく弱い風になります。
冷房時	●運転開始時に、室温と設定温度の差が大きいとき、"強風"運転します。 ●設定温度に到達すると"弱風"に切換わります。
カラッと除湿	●設定温度を室温より低く設定したときは、"弱風"で、高く設定したときは"微風"になります。

カラッと除湿運転のしくみ

運転の種類	このようなときに	運転のしくみ
快速ランドリー	●洗濯物の乾燥を早めたいとき	●外気温、室温を検知して暖房と除湿の最適な組み合わせを自動的に選んで運転します。 ●洗濯物の乾燥を優先して運転を行います。室温・湿度が一時的に上がりますので、お部屋に人がいないときにお使いください。 ●3時間のタイマーになっています。
けつろ抑制	●冬、窓にできる結露を抑制したいとき	●結露を抑えるため、湿度を下げる運転を最優先しますので、室温は下がります。室温1℃以下になると運転を停止します。 ●2時間のタイマーになっています。

●在室人数、部屋の条件、室外の温度によっては、設定温度を変えても設定温度に到達しないことや、設定湿度にならないことがあります。

ノンストップ暖房運転について

●室外熱交換器に付いた霜を、暖房運転を行いながら除霜（約2分）します。
●ノンストップ暖房除霜中は、室内風速が弱くなり、風の温度が下がります。
●外気温度が低い場合や、湿度が高く室外機に霜が付きやすいときは、暖房を止めて除霜運転（☞ 10ページ）を行います。

各部の名称と働き①（☞ 8ページ）

暖房の能力について

●このルームエアコンは、外気の熱を吸収して室内に運び込むヒートポンプ暖房を行いますので、外気温が下がるにつれて暖房能力は低下します。この場合はインバーターの働きで、圧縮機の回転数を上げて能力の低下を防ぎますが、それでも暖まりの悪いときは、他の暖房器具との併用をお勧めします。
●エアコン暖房は、部屋全体を暖める暖房ですので、暖かく感じるまで少し時間がかかります。タイマーで早めに運転しておくことをお勧めします。（☞ 24ページ）

ご注意

ストーブなど、高温になるものは、室内機の近くでは使わないでください。

冷房・カラッと除湿の能力について

●室内に冷房能力以上の熱源（多くの人が居る·熱器具を使う）がありますと、"設定温度"に到達しないことがあります。
●室内に除湿能力以上の熱源及び湿気の浸入、発生がありますと"設定湿度"に到達しないことがあります。

※配管が長いと、暖房・冷房の能力が若干低下します。

リモコンで運転をするには (☞ 17ページ)

- 運転を開始する前のリモコン操作で、風速·室温をセットした後、ボタンをはなすと、約10秒後にそれらの表示が消え、運転の種類だけの表示になります。
- 運転中に 運転切換 ボタンを押すと、保護回路が働いて約3分間運転しません。
- 暖房運転時、室内機の運転モニターランプが点滅し、しばらく風が出ないことがあります。(☞ 10ページ)
- 暖房の風速"強"運転時、風が冷たく感じる場合や部屋が暖かくなった後に静かな運転を行いたい場合は、風速"自動"でお使いになることをお勧めします。
- 風速"微""静"またはおさえめ運転時は、能力が少し低下します。
- カラッと除湿運転時には、室外ファンが低速運転または停止することがあります。
- 暖房運転の風速"微""静"またはおさえめ運転時では、運転条件によって、風速が変化することがあります。

リモコンの カラッと除湿 ボタンで運転するには (☞ 19ページ)

- すでに結露した露を除去する効果はありません。(けつろ抑制運転)
- 洗濯物の量や材質によっては、乾きが遅くなる場合があります。(快速ランドリー運転)
- 外気温が低いときに、けつろ抑制運転を行うと、室温が下がりますので注意してください。
- カラッと除湿(快速ランドリー、けつろ抑制運転)運転中は、「切タイマー」「入タイマー」予約(☞ 24ページ)はできません。快速ランドリーは3時間、けつろ抑制運転は2時間の切タイマー時間があらかじめ設定されていますが、おやすみ ボタンを押すと、30分、1、2、3、4、5、6、7、8、9時間切タイマー及び連続運転に変えることができます。
- 「切タイマー」「入タイマー」予約しているときに、カラッと除湿 ボタンを押すと、"カラッと除湿:快速ランドリー"、"カラッと除湿:けつろ抑制"、"カラッと除湿"の順番に設定されます。

タイマー予約運転をするには/おやすみタイマー運転をするには (☞ 24~27ページ)

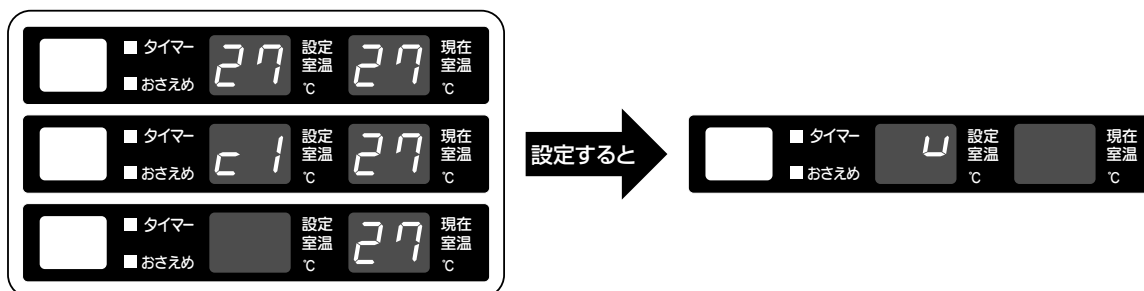
- タイマー予約したときにリモコンの送信をエアコンが受信しないと、タイマー時間がきても、エアコンは動作しません。室内機の受信音と室内機のタイマーランプで、タイマー予約したことを確認してください。(☞ 10ページ)
- 「切タイマー」「入タイマー」予約中に おやすみ ボタンを押すと、おやすみタイマー運転が優先されます。但し、「入タイマー」設定時間を超えるおやすみタイマー時間設定はできません。
- おやすみタイマー予約中は、「切タイマー」および「入タイマー」予約はできません。
- 停止中におやすみタイマー予約すると運転を開始します。

運転中室内機表示部が明るく感じるときは

■ 次の設定を行うことで一時的に室内機表示部を消灯できます。

①エアコン運転中に室内機に向かってリモコンの 時刻 ボタンの上部と 1回/毎日 ボタンを同時に5秒以上押し続ける。

②"ピッ"と受信音がして室内機表示部が消灯します。ただし、設定室温表示部に ᴸ と表示して消灯していることをお知らせします。

設定すると

☆消灯設定中の室内機ボタンおよびリモコン操作は可能です。

- 消灯設定中に室内機ボタン操作またはリモコン操作を行った場合、約10秒間通常運転表示へ戻ります。
  その後また、 ᴸ 表示に戻ります。
  チャイルドロック中に室内機ボタン操作を行った場合は、設定室温表示部に c1 を表示してチャイルドロック中であることをお知らせし、約10秒後 ᴸ 表示に戻ります。
- 設定を解除する場合は①の操作を行うか運転を停止してください。

暖房運転床面吹き出し機能（床暖房気流）設定

■ 次の設定を行うことで、暖房運転時に室温が設定温度に近づいたとき、上側吹き出し口を自動的に閉じて、下側吹き出しのみにすることができます。

①エアコン停止中に室内機に向かってリモコンの 時刻 ボタン上部と おさえめ ボタンを同時に5秒以上押し続ける。

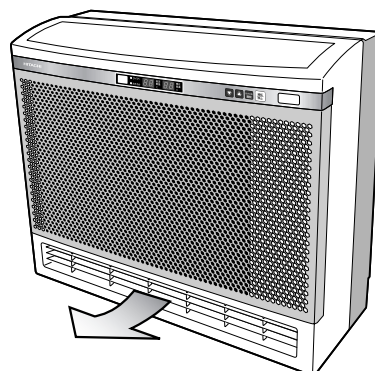
②"ピッピー"という受信音がしたことを確認してください。これで設定完了です。
設定解除は①をもう一度行ってください。"ピッ"という受信音がしたら設定解除です。

※本設定をした場合でも、室温が設定温度に達し、運転が一時停止した際には室温検知のため、閉じていた上側吹き出し口を自動的に開きます。
（運転を再開し、室温が設定温度に近づくと上側吹き出し口は再度自動的に閉じます。）

以下のときは、本設定をしても上側吹き出し口は閉じません。

- 吹き出し方向切換スイッチを"上のみ"にしているとき（☞ 9ページ）

☆本設定上の注意

- エアコン運転中に本設定を行うとエアコンが停止します。
  その際には、運転/停止ボタンを押して運転を再開してください。
- タイマー予約されている時に本設定を行うとタイマー予約が取消されます。その際には、再度タイマー予約の設定を行ってください。

上手な使い方

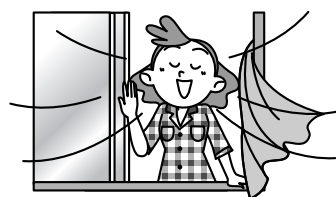
上手な使いかた

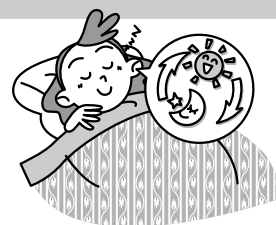
■「適切な室温」が、からだにも家計にもおすすめです。

- 冷やし過ぎたり、暖め過ぎないようにしてください。健康上好ましくないうえ、電気代もムダになります。
- 窓のカーテンやブラインドを閉めれば、熱の出入りを抑えて、電気をより有効に使えます。

■ ときどき、お部屋の空気を入れ換えてください。

注意

- **燃焼器具と同時に使用するときは、必ず換気を行う**

■ おやすみになるとき、外出するとき、タイマーの有効利用を。

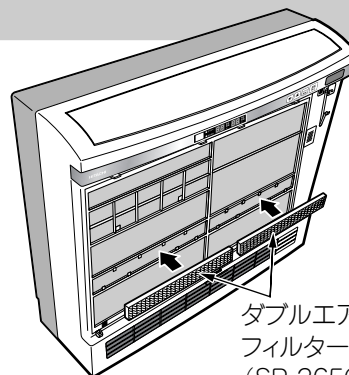
（タイマーの使いかたは ☞ 24～27ページ）

■ 次のものは使わないで！（室外機も同様）

- ベンジン、シンナー、みがき粉などは、塗装面やプラスチック部品を傷めます。
- 40℃以上のお湯も使わないでください。フィルターが縮んだり、プラスチック部品が変形することがあります。

■ 吸い込み口・吹き出し口はふさがないで！

- 室内・室外機の吹き出し口や吸い込み口をカーテンや他の障害物でふさがないでください。性能が低下するばかりか、故障の原因になります。

■ ダブルエアクリーナーフィルターは、使い捨てです。3ヵ月を目安にお取り換えをお勧めします。

- 取り換え用空清フィルターは必ずダブルエアクリーナーフィルター（別売）をご使用ください。（☞ 38ページ）お買い求めの際は、販売店にご相談ください。

故障かな?と思ったら

■ サービスを依頼する前に …次のことをお調べください。

症状	確認	参照
送信しない 受信しない （リモコンの表示がうすい 表示がでない）	①リモコンが電池切れになっていませんか？	14 15 ページ
	②乾電池の ⊕⊖ が逆になっていませんか？	
	③リモコンの信号が受信しづらい場合、照明が影響していませんか？ （部屋の照明を消して確認し、影響している場合は、販売店にご相談ください。）	
運転しない	①電源スイッチまたは、漏電しゃ断器が"切"になっていませんか？	9 ページ
	②電源プラグが差し込まれていますか？	—
	③ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか？	—
	④停電ではありませんか？（停電後は運転が停止したままとなります。）	—
よく冷えない よく暖まらない	①ステンレスフィルターにホコリが詰まっていませんか？	28 ページ
	②"設定温度"のセットは適正になっていますか？	17 18 ページ
	③上下風向板は、運転内容に合った正しい位置になっていますか？	23 ページ
	④室内･室外機の吹き出し口や吸い込み口を障害物などでふさいでいませんか？	—
	⑤風速が"微""静"または"おさえめ運転"になってませんか？	17 20 ページ
暖房運転時、風の温度が下がり風が弱くなる、または風が止まる	● 室外機についた霜を溶かしています。	10 ページ 29 ページ

■ これは故障ではありません。

現象	説明
においがする	エアコン自体ににおいを発生させる物質は使用しておりません。エアコンが室内の空気に含まれているタバコ･化粧品･食品などいろいろなにおいを吸い込み、これが吹き出すためです。
暖房運転時、運転モニターランプが点滅している	予熱・霜取り運転を行っているためです。
「シュルシュル」「シャー」「ボコボコ」「プシュ」という音	冷媒がパイプの中を流れる音と、流れの方向を切換えるときの弁の音です。
「キシキシ」という音	温度変化でエアコン自体が膨張･収縮する音です。
「バサバサ」という音	運転開始時など、室内ファンの回転数が変わるためです。
「カタカタ」という音	電源投入時、電動弁が作動するときの音です。
「ポコポコ」という音	換気扇等により排水ホース内の空気が吸引され、露受皿の除湿水を吹き上げるときの音です。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
運転音が変わる	室温の変化に応じて、運転パワーが変わるためです。
霧が出る	室内の空気がエアコンの冷気で急速に冷やされて霧になるためです。
室外機から湯気が立つ	霜取り運転で解けた水が蒸発するためです。
"停止"にしても運転モニターランプが点滅し、室外機が動いている	オートフレッシュ除霜（"暖房"を停止するとマイコンが室外機の霜付き状態をチェックし、必要に応じ自動霜取り運転を指令する機能）が働いているためです。
設定温度にならない	在室人数や室内、室外の条件や、同時に何室か運転している場合は、他室の影響を受けて、設定温度と実際の室温に若干のズレが生じる場合があります。

● 以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときや右のような現象が出たときは、電源プラグを抜き（またはブレーカーを"OFF"にして）、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。
アフターサービスについては34ページをご覧ください。

こんなときは、すぐ販売店へ。

- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの動作が不確実。
- 誤ってエアコン内部に異物や水を入れてしまった。
- コードの過熱やコードの被覆に破れがある。
- 室内機の設定室温および現在室温表示部の数字が点滅している。
（点滅している数字で故障原因がわかりますので、電源プラグを抜く前に点滅している数字をご確認の上ご連絡ください。）

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間です。
（ただし、冷凍サイクル部分は5年間です。）
なお、保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

エアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」（☞ 37ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

33ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いて（またはブレーカーを“OFF”にして）から、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

品名	日立ルームエアコン
形名	RAF-36X RAF-40X2 RAF-50X2 形名表示　リモコン形名
お買い上げ日	年　月　日
故障状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	（　）　－
訪問希望日	

※形名は保証書にも記載されています。

■ 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ

修理料金 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料
などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

再据付工事のお申し込みは

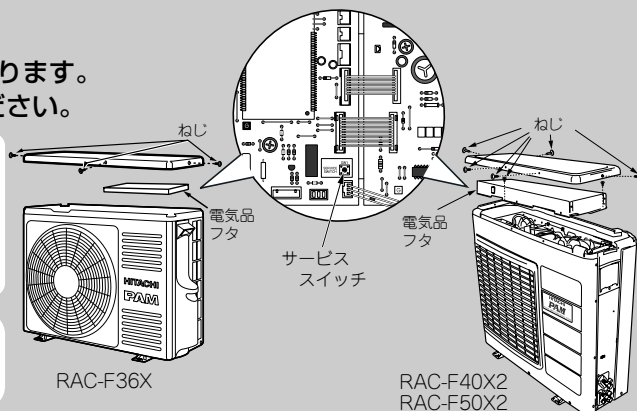
販売店に再据付工事（転居または別の部屋への接続）を依頼する場合は、据付工事の繁忙期に当たる夏期は工事が遅れぎみになりますので、できるだけ避けるようお願いいたします。また、据付工事は専門の技術が必要です。費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。

強制冷房運転（販売店で行う操作です。）

■ 室外機のサービススイッチをONさせると強制冷房になります。故障診断や室外機の冷媒を回収するときに使用してください。

- 一度電源を切り、再度電源を入れて1分以上待ってからサービススイッチを押してください。
- サービススイッチでの作業が終了したら、必ずスイッチを1秒以上押し続けて、強制冷房運転を止めてください。

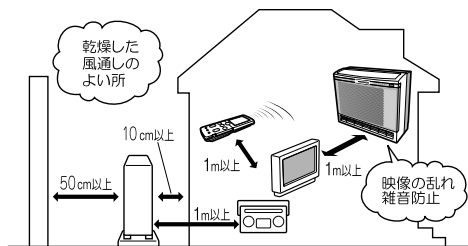
注意

- **サービスバルブのスピンドルを閉めた状態で5分以上運転しない**

据え付けについて

⚠警告

- **据付工事や電気工事は専門の技術が必要なため、販売店に依頼する**
  費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- **据付場所については、販売店とよく相談して決める**
- **アース（接地）を確実に行う**
  感電防止のほか静電気の障害や雑音を防ぐ効果もあります。

据付場所

- 室内機およびリモコンは、テレビやラジオ、ラジオのアンテナから1m以上離してください。
  1m以上あっても受信感度の弱い場合は、雑音が小さくなるまで離してください。

- 海浜地区で潮風が直接当たる場所や温泉地帯など、周辺環境が特殊な場所でご使用になる場合は、お買い上げの販売店とよく相談してください。
- 調理場や機械工場など油の飛沫や油煙の立ちこめる場所、工場など電圧変動の多い所、電磁波を発生する病院や作業場、粉末や塵埃の多い工場への設置は避けてください。

⚠注意

- **室内機排水ホースからの除湿水、室外機排水口（下面）からの凝縮水が出るため、水はけのよい場所を選ぶ**
- **可燃性ガスの漏れるおそれのある場所や、蒸気・油煙などの発生する所で使わない**
  引火や爆発・樹脂の劣化や破損のおそれがあります。
- **特殊な用途（例えば電子機器や精密機器の維持、食品・毛皮・美術骨董品の保存、生物の培養・栽培飼育など）には使用しない**
  ルームエアコンは日本工業規格（JIS C9612）に基づき、一般の家庭でご使用いただくために製造されたものです。

電源について

- 電源は配電盤からエアコン専用に引いた回路をお使いください。

アースについて

⚠警告

- **万一漏電したときの感電防止のために、アース（接地）を確実に行う**
  アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。アース（接地）を行うと、感電防止のほかに製品に触れたときに感じる静電気の障害や、リモコン操作時にテレビ、ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- **次のような場所にアース線を接続しない**
  ①水道管
  ②ガス管…爆発のおそれがあります。
  ③電話線のアースや避雷針…落雷のとき大きな電流が流れ危険です。
- **漏電しゃ断器を設置する**
  据付場所によっては、D種接地工事のほかさらに漏電しゃ断器を設置することが法律で義務づけられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

積雪について

- 室外機の吸い込み口や吹き出し口が雪でふさがれますと、暖まりにくくなったり故障の原因になったりします。積雪地では防雪の処置をお願いします。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

騒音にもご配慮を

- 据え付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口からの冷・温風や騒音が、隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口付近に物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、障害物は置かないでください。
- エアコンを使用中に異常な音にお気づきの場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

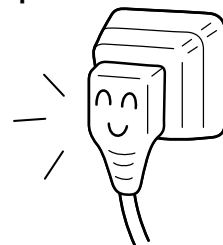
定期点検

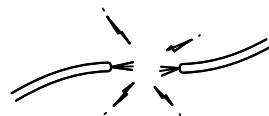
定期点検

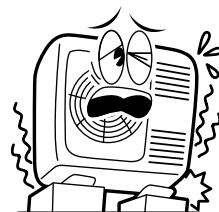
■ 半年～1年に一度、定期的に次の点検を行ってください。
もし、ご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？

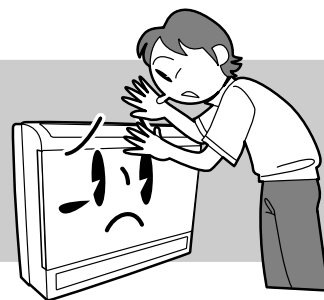
⚠警告
●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていなかったり、熱くなっていたりすると、感電や火災などの原因になります

●電源プラグにホコリの付着や汚れなどがある場合は掃除をしてから電源プラグを差し込んでください。

●アースが確実に行われていますか？

⚠警告
●アース（接地）が正しく接続されているかを確認する
アース線が外れたり、途中で切れたりすると、誤動作や感電などの原因になります。

●据え付けが不安定になっていませんか？

⚠警告
●据付台が極端に錆びている、あるいは室外機が傾いたりしていないかを確認する
室外機が倒れたり、落下したりして、けがなどの原因になります。

点検整備

■ エアコンを数シーズン使いますと、内部が汚れ、性能が低下することがあります。

⚠注意
●通常のお手入れと別に点検整備を行う
室内機の内部にゴミやホコリがたまって、除湿水の排水経路を詰まらせ室内機から水たれを発生させることがあります。

●通常のお手入れと別に、点検整備をおすすめします。

⚠注意
●点検整備は、お買い求めの販売店に依頼する
点検整備には専門技術を必要とします。市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。

●点検整備は、お買い求めの販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

（受付時間）365日／9:00～19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

（受付時間）9:00～17:30（月～土）、
9:00～17:00（日・祝日）
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

仕　様

形名		室内機	室外機	室内機	室外機	室内機	室外機
		RAF-36X	RAC-F36X	RAF-40X2	RAC-F40X2	RAF-50X2	RAC-F50X2
電源（V）		単相100		単相200			
定格周波数（Hz）		50・60共用					
冷房能力（kW）		3.6		4.0		5.0	
冷房面積の目安（m²）	鉄筋アパート南向き洋室	25		28		34	
	木造南向き和室	16		18		23	
暖房標準能力（kW）		4.8		5.0		6.3	
暖房面積の目安（m²）	鉄筋アパート南向き洋室	22		23		29	
	木造南向き和室	17		18		23	
運転電流（A）	冷房	9.9		5.8		9.4	
	暖房	11.9		5.6		8.2	
消費電力（W）	冷房	985		1,150		1,860	
	暖房標準	1,175		1,110		1,625	
運転音（dB）	冷房	42	47	45	50	45	50
	暖房	43	48	44	51	44	51
通年エネルギー消費効率（APF）		4.5		4.5		4.1	
外形寸法（mm）（高さ×幅×奥行）		600×750×235	600×792×299	600×750×235	800×850×298	600×750×235	800×850×298
製品質量（kg）		16	42	16	54	16	54

- この仕様表は、JIS（日本工業規格）にもとづいた数値です。
- 停止中の消費電力は、1.1Wです。（電源スイッチまたはブレーカーOFF時は0W）
但し、外気温が10℃以下になる場合は、機械保護のため、約40Wの電気を消費します。（RAF-36Xは除く）

付属部品・別売部品について

主な付属部品

部　品　名	員数	備　　　考
リモコン	1	形名：RAR-3R3
リモコン取付具	1	
リモコン取付具固定ねじ	2	
リモコン用乾電池（単4）	2	モニター用電池のため、乾電池の交換が早くなる場合があります。
ダブルエアクリーナーフィルター	1	約3ヵ月ご使用になれます。

主な別売部品

部　品　名	形　　名	備　　考	希望小売価格
ダブルエアクリーナーフィルター	SP-265CF3	1セットで約3ヵ月ご使用になれます。	1,260円 税込
かんたんリモコン	SP-RC2	ふだんよく使うボタンだけを集めたシンプルで使いやすいリモコンです。	4,200円 税込

- 価格は2007年8月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。
- 商品によっては品切れ、仕様変更の場合がございますので、販売店にお問い合わせください。

愛情点検

● 長年ご使用のエアコンの点検をぜひ！

このようなことはありませんか

- コゲ臭いにおいがする。
  電源コード、プラグが異常に熱い。
- 運転音が異常に高くなる。
- 室内機から水漏れがする。
- 漏電しゃ断器がひんぱんに落ちる。
- その他の異常や故障がある。

電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いて（またはブレーカーを“OFF”にして）必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います。
　2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日	形名	
購入店名	電話　（　　）		

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

RAF-36X
RAF-40X2 Ⓒ
RAF-50X2

RAF-36X
RAF-40X2
RAF-50X2

HITACHI
日立ルームエアコン据付説明書

●据付工事前にお読みになり正しく据え付けてください。
●お客さまに操作方法を取扱説明書でよく説明してください。

室内機　室外機
RAF-36X形　＋RAC-F36X形
RAF-40X2形＋RAC-F40X2形
RAF-50X2形＋RAC-F50X2形

据付情報 ●ＨＡシステムへ接続するには、機種専用別売のHA接続コードが必要です。

据付工事に必要な工具（◉印はR410A専用工具）

●⊕⊖ドライバー　●巻き尺　●ナイフ　●ペンチ
●パイプカッター　●六角棒スパナ（呼4）●Pカッター
●φ65㎜ホールコアドリル　●真空ポンプ　●やすり
●スパナ（口径14、17、19、22㎜）　●トルクレンチ
◉ポンプアダプタ　◉フレアリングツール　◉ガス漏れ検知器
◉マニホールドバルブ　◉チャージホース（●ポリシン）

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った据え付け方をしていたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

……この表示の欄は、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

……この表示の欄は、「傷害を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この据付説明書は、取扱説明書とともにお客様が保存頂くように依頼してください。

⚠警告

●**据付工事は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼する**
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
●**据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う**
据え付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
●**据え付けは、重量に十分耐える所で確実に行う**
強度不足や取り付けが不完全な場合は、室内外機の落下・転倒により、けがの原因になります。
●**電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、および、据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する**
電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災などの原因になります。
●**接続ケーブルの配線は、途中接続やより線の使用はせず所定のケーブルを使用して確実に接続する**
端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
接続や固定が不安定な場合は、故障や発熱・火災などの原因になります。
●**設置工事部品は、必ず付属部品及び指定の部品（別売部品等）を使用する**
当社指定部品を使用しないと、室内外機の落下・転倒・水漏れ・感電・火災および運転音や振動が大きくなる原因になります。
●**エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒（R410A）以外の空気などを混入させない**
空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。
●**配管・フレアナットは、必ずR410A指定のものを使用する**
破裂やけがなどの原因になります。
●**フレアナットはトルクレンチを使用し、指定のトルクで締め付けること**
フレアナットを締め付け過ぎると、長期経過後フレアナットが割れて冷媒漏れの原因になります。
●**作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気を行う**
冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。
●**設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する**
冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。
⚠警告

●**アース（接地）を確実に行う**
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない
アースが不確実な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になります。
●**据付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取り付ける**
冷媒配管が取り付けられておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂・ケガなどの原因になります。
●**冷媒回収（ポンプダウン）作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する**
圧縮機を運転したまま、サービスバルブ開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂・ケガなどの原因になります。
●**電源コードの加工・途中接続・タコ足配線はしない**
接触不良・絶縁不良・許容電流オーバーなどにより、火災や感電の原因になります。
●**接続ケーブルの配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取り付ける**
カバーの取り付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
●**電源プラグを差し込む際は、電源プラグ側だけでなく、コンセント側にもホコリの付着、詰まり、がたつきがないことを確認し、刃の根元まで確実に差し込む**
ホコリの付着、詰まり、がたつきがあると、感電・火災などの原因になります。コンセントにがたつきがある場合は、交換してください。
⚠注意

●**設置場所によっては漏電しゃ断器を取り付ける**
漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。
●**可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へは設置しない**
万一ガスが漏れて室内外機の周囲にたまると、発火の原因になることがあります。
●**排水工事は、据付説明書に従って、確実に排水するよう配管を行う**
不確実な場合は、屋内に浸水し家財などを濡らす原因になることがあります。

据付場所の選定
（下記の点に注意し、お客さまの同意を得て据え付けてください。）

室内機

⚠警告
●本体を十分ささえられ、振動が出ない、強度のあるところに据え付ける

⚠注意
●近くに熱の発生がなく、吹出口付近をふさがないところ
●本体の上・左・右に下図の⟺印の間隔をあけられるところ
●ドレン排水が容易にでき、室外機と配管接続ができるところ
●可燃性ガスの漏れるおそれのある場所や、蒸気・油煙などの発生しないところ
　引火や爆発・樹脂の劣化や破損のおそれがあります。
●室内機およびリモコンはテレビやラジオから1m以上離す
　画像の乱れや雑音が入ることがあります。
●高周波機器、高出力の無線機器などからはできるだけ離す
　エアコンが誤動作する場合があります。
●電子点灯形の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあり、場合によっては信号を受け付けないことがあります

室外機

⚠警告
●室外機の重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないところに据え付ける

⚠注意
●雨や直射日光があたりにくい風通しのよいところ
●吹き出した風が直接動物や植物にあたらないところ
●本体の上・左・右・前・後に下図の⟺印の間隔をあけられ、2面以上開放できるところ
●吹き出した風や騒音がご近所のめいわくにならないところ
●強風の当たらない場所
　特にビルの屋上では、風が強く室外ファンが破損することがあります。
●可燃性ガスの漏れるおそれのないところや、蒸気や油煙などの発生しないところ
●排出されたドレン水が流れても問題のないところ
●室外機およびFケーブルはテレビ・ラジオ・インターホン・電話などのアンテナ線や信号線・電源コードなどから1m以上離す
　ノイズで影響をおよぼす場合があります。

番号	付属部品	員数
①	リモコン取付具	1
②	乾電池（単4）	2
③	リモコン取付具固定ねじ	2
④	フレア継手断熱	1
⑤	結束バンド	2
⑥	保冷用断熱材	1
⑦	リモコン	1
⑧	電源スイッチ固定板	1
⑨	ダブルエアクリーナーフィルター	1
⑩	本体固定ねじ（床面用）（4.1×32）	2
⑪	本体固定ねじ（背面用）（4.0×34）	2
⑫	配管穴断熱材	1
⑬	ブッシュ	※※ 3
⑭	ブッシュ	※※※ 1
⑮	ドレンパイプ	1

※⑬⑭⑮は室外機に同梱。
※※RAC-F36Xには2個同梱。
※※※RAC-F36Xには入ってません。

アース棒	長さ
SP-EB-1	450㎜
SP-EB-2	900㎜（D種接地工事推奨品）

室外凝縮水処理

●室外機のベースには地面に凝縮水を排出するよう穴があいています。
●凝縮水を排水口などに導くときは、平地置台（別売）やブロックなどに載せ地面より100mm以上上げて据え付け、図のようにドレンパイプを接続してください。その他の水抜き穴（3カ所：RAC-F36Xは2カ所）は、ブッシュでふさいでください。ブッシュの取付けは、図のように水抜き穴に合わせて、ブッシュの両端を押してはめ込んでください。
●ドレンパイプを接続する場合は、ブッシュがベースから浮いたり、ずれていないことを確認してください。
●室外機は水平に据え付け、凝縮水の排水を確認してください。

●寒冷地等でご使用の場合
特に寒冷地等で寒さが厳しく積雪等が多いと、熱交換器から出る水がベース表面に凍結し、排水が悪くなることがあります。このような地域では、ブッシュ、ドレンパイプは取り付けないでください。水抜き穴と地面との距離を250mm以上確保してください。

振動が家屋に伝わるおそれのある場合は、室外機と据付具の間に防振ゴム（別売部品）を入れてください。

室内機

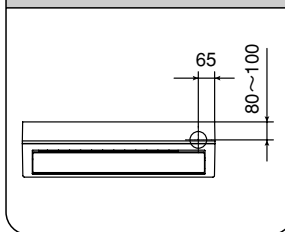
1 穴あけおよび保護パイプの取り付け

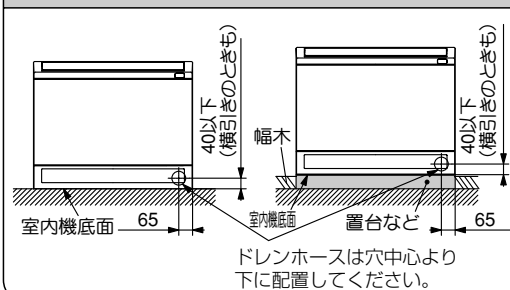
穴位置

- 室内機を据え付ける位置を決めます。
- 穴は右図の位置が標準です。(単位：mm)
- 配管穴位置決め時に梱包箱を使って背面固定穴位置を出しておくと作業が効率的です。(「3室内機の固定」を参照)

下引きの場合

床 穴 位 置

65　80～100

後直引きおよび右横引きの場合

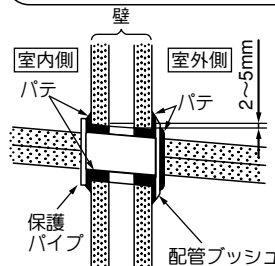
壁 穴 位 置

左図のように室内機底面から高さ40mm以下の位置に壁穴を開けてください。これより壁穴が高い場合ドレンホースの勾配がとれず水垂れの原因となります。幅木などをよけて穴位置を高くしたい場合や既設の壁穴を流用する場合は別売の置台などの台を使用して、壁穴と室内機底面の位置関係を左記のように合わせてください。

穴あけおよび保護パイプの取り付け

床穴の場合

- φ65㎜の穴をあけます。
- 床下や室外の高湿空気の浸入等がないようパテ等で完全にシールします。

壁穴の場合

- φ65㎜の穴を外側に下がりぎみにあけます。
- 保護パイプを壁の厚さに合わせ切断し壁穴に通します。
- 雨水や外気の浸入等がないようパテで完全にシールして配管ブッシュを付けます。

⚠ 警告

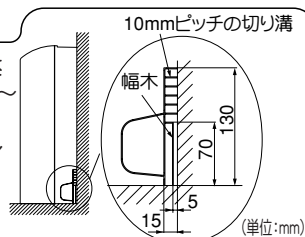
- **保護パイプ(市販品)は必ず使用する**
  接続ケーブルが壁の中のメタルラスに接触したり、壁が中空の場合、ねずみにかじられたりして感電・火災などの原因となります。
- **パテで完全にシールする**
  壁内や室外の高湿空気が室内に浸入し、露たれの原因になります。また壁内や室外のにおいが室内に浸入する原因となります。

2 室内機据え付けの準備

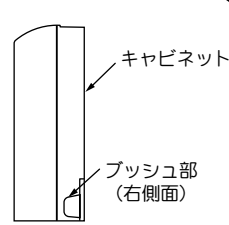
室内機の準備

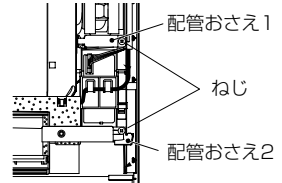
幅木のある場合

- 幅木の大きさが厚さ5～15mm、高さ70～130mmの場合は、幅木に合わせて切断します。

10mmピッチの切り溝　幅木　130　70　5　15　(単位:mm)

キャビネットブッシュ部の切断

(右横引きの場合)

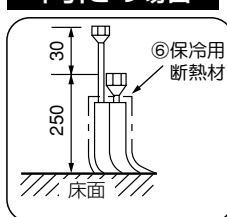
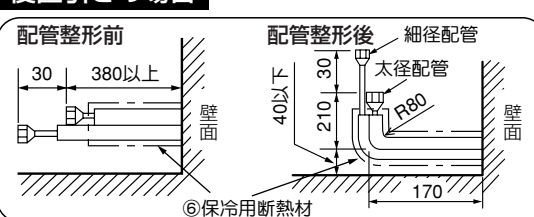
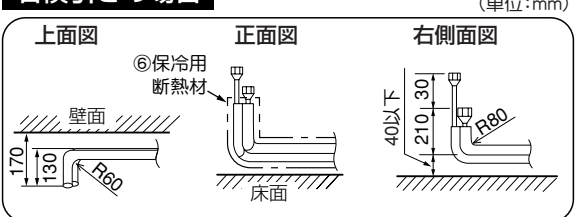
- 右横引き配管時はキャビネットのブッシュ部をPカッター等で切り取り、やすりで体裁よく仕上げてください。

- フロントパネルを外してから、化粧カバーを外します。(P.8の「化粧カバーの外しかた」を参照)
- 配管おさえ1と2を外します。

配管おさえ1　ねじ　配管おさえ2

配管の準備

- 配管は壁・または床穴を通し、室内機背面から室内機内部に引き込みます。
- 配管の整形は図のようにします。
- ⑥保冷用断熱材を太径配管フレアナット付近から壁穴または床穴の中まで被せておきます。

※置台を使用する場合は置台に付属の据付説明書を参照してください。

下引きの場合

30　250　⑥保冷用断熱材　床面

後直引きの場合

右横引きの場合

(単位：mm)

⚠ 注意

- **ポリシンを使用する場合は削り粉が入らないよう必ずフレア加工を行った後に挿入すること**
- **ドレンホースは左横引きにしない**
  ドレンホースを左横引きにすると勾配がとれなくなり、水垂れの原因になります。

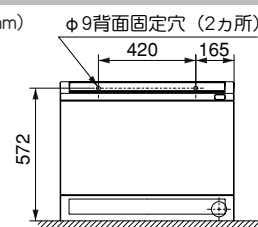
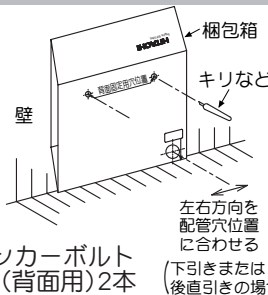
3 室内機の固定

本体上部の固定

⚠ 警告

室内機と後ろの壁との間に隙間がある場合でも、針金等を使用することにより、必ず壁、天井または床に固定し、倒れ防止を施すこと

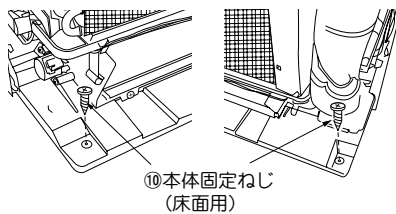
(単位：mm)

φ9背面固定穴（2カ所）　420　165　572

- 上図の位置にφ6のアンカーボルトまたは⑪本体固定ねじ(背面用)2本を埋め込みます。
  室内機を少し持ち上げて引っ掛けます。

- 梱包箱に「背面固定用穴位置」(2ヵ所)と「配管穴位置」(後直引きの場合)が原寸大で示してありますので穴位置決めに使用できます。
- 図のように梱包箱を折りたたんで梱包材に示す「室内機底面合わせ位置」を下にして室内機を置く面に合わせて壁にあてます。キリなどを使って背面穴位置を壁にマーキングします。下引きまたは後直引きの場合は左右方向を配管穴位置に合わせて行います。

※置台を使用する場合は置台に付属の据付説明書を参照してください。

〈印刷記号：XS-1 Ⓑ〉

本体床面への固定

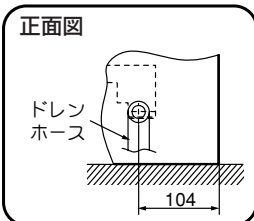
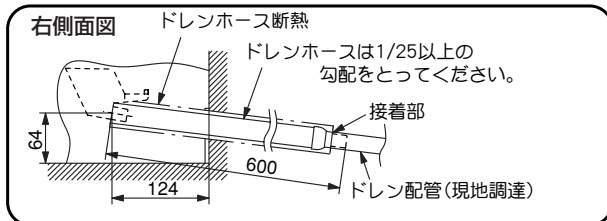
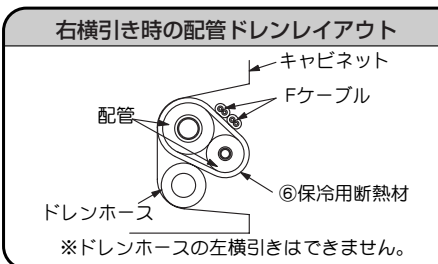
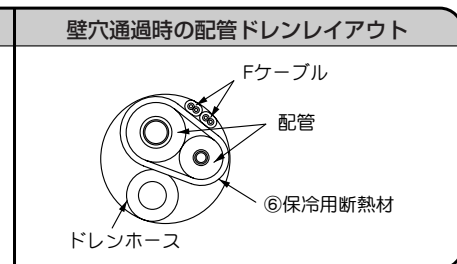
●室内機の底面左右2カ所を⑩の本体固定ねじ（床面用）で固定します。

警告

室内機の転倒防止の為、必ず本体固定ねじ（床面用）を取り付けること

4 室内機の据え付け

（単位：mm）

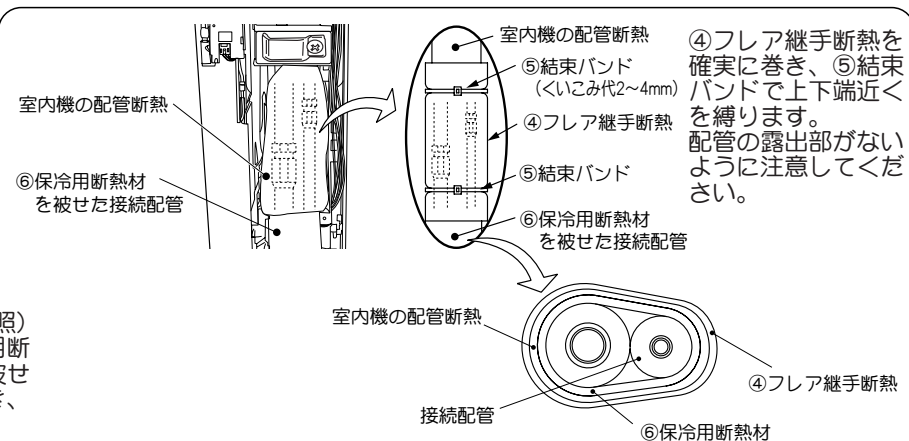
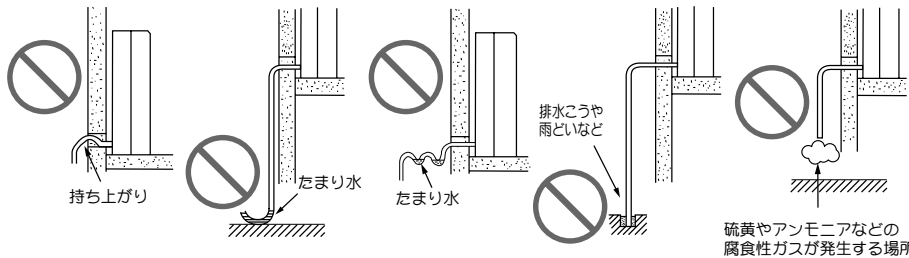
ドレン配管工事

●ドレン配管は排水が途中で溜らず確実に流れるよう、下り勾配を付けてください。
特に右横引き、後直引きの場合は、右下の図のように必ずドレンホースが下側になるようにして下り勾配を付けてください。
●室内機にドレンホース（接続口外径16mm長さ600mm）を付属していますので、右図の位置までドレン配管を準備してください。
●屋内部のドレン配管は結露防止のため、肉厚10mm以上の断熱材で覆い断熱の強化をしてください。

排水の確認

室内機のドレン配管工事終了後、水を流して確実に排水されることを確認してください。（確認を怠ると水垂れの恐れがあります。）

ドレン配管工事後ドレンホースの抜けやたるみのないことを確認してください。

注意

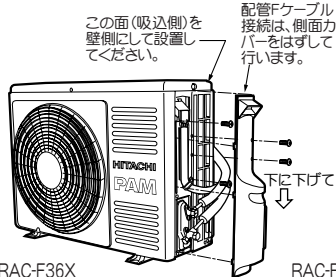
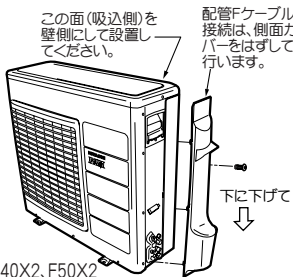
●**ドレン工事は、確実に排水できるように配管し、必ず排水の確認を行う**
確認を怠ると、水垂れとなることがあります。
●**右図のような不具合がないことを確認する**
ドレン詰まりをおこし、水垂れとなります。
●**ドレンホースは1/25以上の勾配をとること**
●**ドレンホースは左横引きにしない**
ドレンホースを左横引きにすると勾配がとれなくなり、水垂れの原因となります。
●**浄化槽等、腐食性ガス（硫黄、アンモニア等）が発生する場所にドレンホースを導かないでください。**
腐食性ガスがドレンホースから室内機に逆流し、銅配管を腐食させたり室内の異臭の原因になることがあります。

④フレア継手断熱を確実に巻き、⑤結束バンドで上下端近くを縛ります。
配管の露出部がないように注意してください。

配管の接続

●冷媒配管を接続します。（P.5の配管の接続を参照）
●配管接続後、右図の通りに接続配管に⑥保冷用断熱材を被せ、その上から室内機の配管断熱を被せます。更にその上から④フレア継手断熱を巻き、⑤結束バンド（2本）で固定します。

室外機

●振動や騒音が増大しないように、しっかりした場所に設置してください。
●配管類を、おおよそ整形して位置を決めてください。
●側面カバーは取っ手を持ち、下方へずらして端部のフックをはずしてから引いてください。取り付けるときは、逆の手順で行います。

この面（吸込側）を壁側にして設置してください。
配管Fケーブル接続は、側面カバーをはずして行います。
下に下げて
RAC-F36X

この面（吸込側）を壁側にして設置してください。
配管Fケーブル接続は、側面カバーをはずして行います。
下に下げて
RAC-F40X2、F50X2

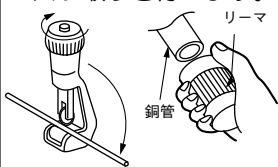
注意

●**室外機の吸い込み口や底面、アルミフィンにさわらない**
ケガの原因になります。

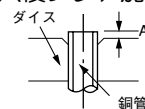
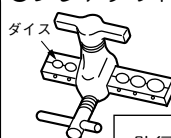
雪の多い地方では、風通しを妨げないよう雪除けや別売の高置台を設けてください。
右図のように据え付けることをおすすめします。
室外機に雪が付着したり、室外機が雪に埋まって暖房能力が低下するのを防止します。

配管の接続・エアパージ

1 配管の切断とフレア加工

●パイプカッターで切断しバリ取りを行います。

⚠注意

●バリ取りをする
バリ取りをしないとガス漏れの原因になります。
●切粉が銅管内に入らないように、バリ取り時には銅管を下向きにする

●フレアナット挿入後フレア加工をしてください。

※R410A用専用工具の使用を推奨します。

外径（φ）	A（mm）〔リジット〕	
	R410A用専用工具の場合	R22用専用工具の場合
6.35(1/4インチ)	0～0.5	1.0
9.52(3/8インチ)	0～0.5	1.0

冷媒配管 ●市販の材料を使用する場合は、次のことを守ってください。

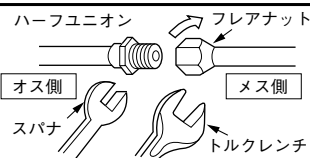
	細径側	太径側
外径・肉厚	φ6.35mm(1/4") 0.8mm	φ9.52mm(3/8") 0.8mm
材料および規格	リン脱酸銅 C1220T JISH3300（付着油量 40mg/10m以下）	
断熱材	●耐熱発泡ポリエチレン 比重0.045 肉厚8mm	●接続配管は2本分離して1本毎に断熱してください。

薄肉管（肉厚0.7mmなど）は、使用しないでください。

2 配管の接続

⚠注意

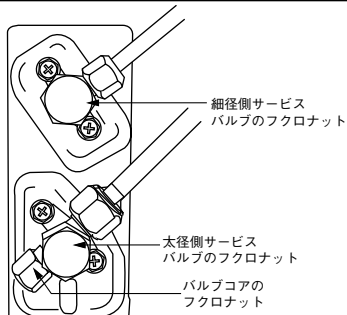
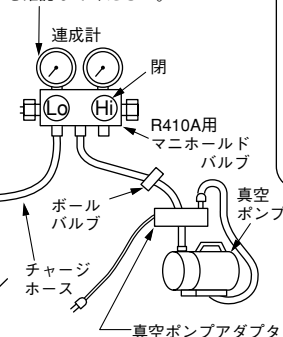
●室内機の配管のフレアナットを外す場合は、細径側パイプを先に外す
太径側から外すとフレア部のシールキャップが飛ぶことがあります。
●接続時は水分が入らないようにする
●フレアナットは必ずトルクレンチを使用し、指定の締め付けトルクで締め付ける
フレアナットを締め付け過ぎると長期経過後、フレアナットが割れて冷媒漏れの原因になります。

●曲げ加工は配管をつぶさないようにしてください。
●接続部に冷凍機油を塗り、中心を合わせフレアナットを手で十分締め付けた後、トルクレンチ（スパナ）で確実に締め付けます。

※締め付けトルクは右表に従ってください。

		パイプ外径（φ）	トルクN•m{kgf•cm}
細径側		6.35(1/4インチ)	13.7～18.6{140～190}
太径側		9.52(3/8インチ)	34.3～44.1{350～450}
フクロナット	細径側	6.35(1/4インチ)	19.6～24.5{200～250}
フクロナット	太径側	9.52(3/8インチ)	19.6～24.5{200～250}
バルブコアのフクロナット			12.3～15.7{125～160}

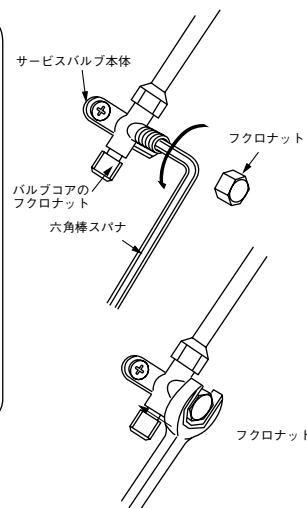
3 エアパージおよびガス漏れ検査

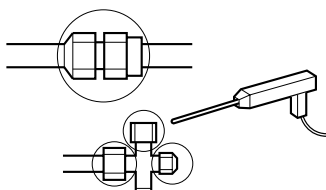
地球環境保護の立場から、エアパージは真空引きポンプ方式でお願いします。

❶
●サービスバルブのフクロナットをはずします。
●バルブコアのフクロナットをはずし、チャージホースを接続します。
●真空ポンプにポンプアダプタを接続し、アダプタにチャージホースを接続します。

❷
●マニホールドバルブのハンドルHiを閉じ、Loを全開にして、真空ポンプを運転（アダプタ電源ON）します。
●真空引きを10～15分間行った後、ハンドルLoを全閉し、真空ポンプの運転を止めます。（アダプタ電源OFF）

ボールバルブは常時全開にしてください。

❸
●細径サービスバルブのスピンドルを1/4回転ゆるめ、5～6秒後すばやく締めます。この時に接続部のガス漏れ検査を行ってください。
●サービスバルブのチャージホースを外します。

❹
●両方のサービスバルブのスピンドルを反時計方向に軽く当るまで回し、冷媒通路を開けます。
（力いっぱい回す必要はありません。）
●フクロナットを元通り締め付けます。
●最後に、ガス漏れ検査を行い、ガス漏れがないことを確認してください。

サービスバルブ本体
フクロナット
バルブコアのフクロナット
六角棒スパナ
フクロナット

ガス漏れ検査

右図の部分をガス漏れ検知器を使用してフレアナット接続部から冷媒漏れがないことを確認します。漏れのある場合は、増締めするなどして、防止してください。（R410A用検知器をご使用ください。）

移設時または、取り外し時の作業方法について

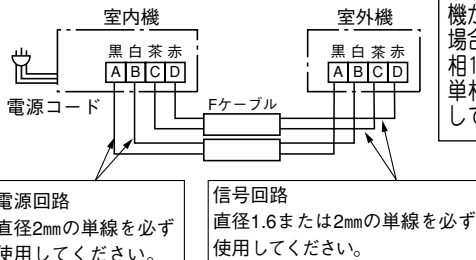
地球環境保護の立場から、移設時または取外し時には冷媒の回収（ポンプダウン）を行ってください。
①強制冷房運転（仕上げの項参照）で5分間程度の予備運転を行います。
②細径サービスバルブのスピンドルを時計回りに回して閉めます。
③そのまま強制冷房運転を1～2分間行った後、太径サービスバルブのスピンドルを時計回りに回して閉めます。
④強制冷房運転を停止します。

Ｆケーブルの接続方法

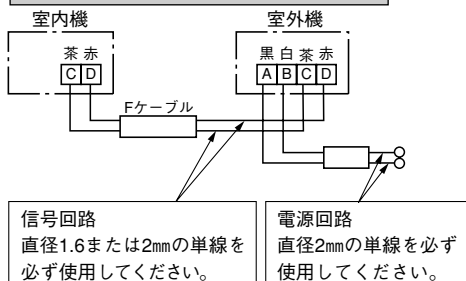
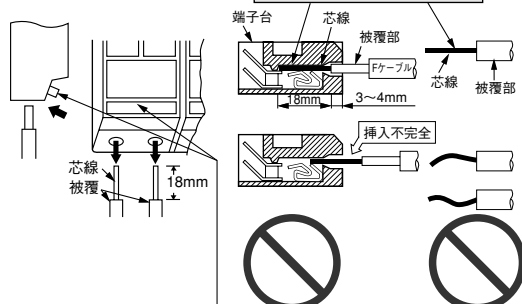
室内機から電源を取る場合

型　式	電　源
RAF-36X	単相100V
RAF-40X2 RAF-50X2	単相200V

電源回路
直径2㎜の単線を必ず使用してください。

信号回路
直径1.6または2㎜の単線を必ず使用してください。

室内機から電源を取る場合も、室外機から電源を取る場合も、電源は単相100V、または単相200Vを使用してください。

室外機から電源を取る場合

信号回路
直径1.6または2㎜の単線を必ず使用してください。

電源回路
直径2㎜の単線を必ず使用してください。

Ｆケーブルを外すときはこの部分を矢印の方向に押しながらＦケーブルを引いてください。

⚠ 警告

- **Ｆケーブルは、必ず単線を使用する**
  より線を使用しますと、端子台が焼損することがあります。
- **Ｆケーブルを途中で接続しない**
  接続部が過熱し、発煙・発火することがあります。
- **Ｆケーブルの芯線は18㎜(最小でも17㎜、最大でも21㎜)むき出し、被覆が3～4㎜かくれるまで確実に押し込み、各々の線を引っ張って抜けないことを確認する**
  挿入が不十分ですと端子台が焼損することがあります。また、むき出し寸法が17㎜以下ですと接触不足により、端子台が焼損することがあります。

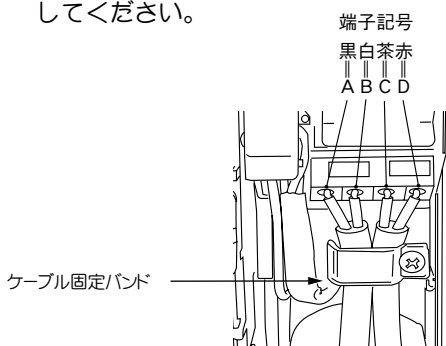
先端を合わせ、まっすぐにしてください。
18㎜
35㎜
Fケーブル

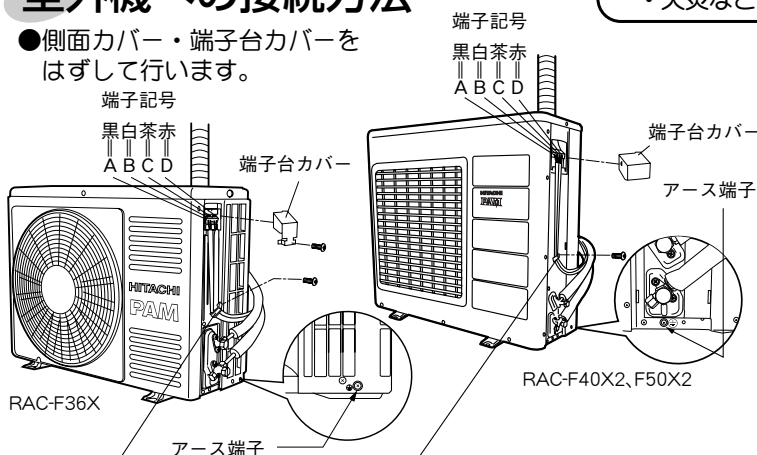
- **Ｆケーブルの芯線は先端を合わせ、まっすぐにする**
- **分岐回路はエアコン専用の回路にする**
- **Ｆケーブルの取付工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行う**
- **電源プラグは必ず抜いて作業を行う**
  室内機から電源を取る場合、電源スイッチが入っていると、Ｆケーブルの AB端子間には常時100V、または常時200Vが印加されています。
- **室外機から電源を取る場合はブレーカーを切る**
  室内機の電源スイッチを「切」にしても、電源はOFFされません。

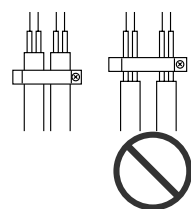
室内機への接続方法

- Ｆケーブルを端子台に接続します。
- 接続後、ケーブル固定バンドでケーブルを固定してください。

⚠ 警告

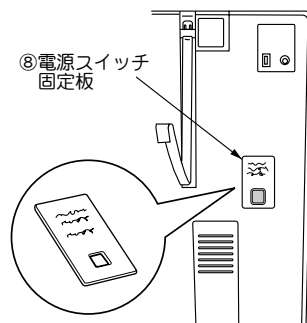
- **Ｆケーブルはサービス時の作業性を考慮して余裕を持たせて、必ずケーブル固定バンドで止める**
- **ケーブル固定バンドで止めるときは、Ｆケーブルの外側の被覆部の上から確実に止め、接続部に外力が加わらないようにする**
  Ｆケーブルの接続部に外力が加わると、発熱・火災などの原因になります。

室外機への接続方法

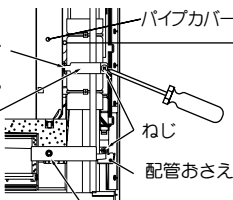
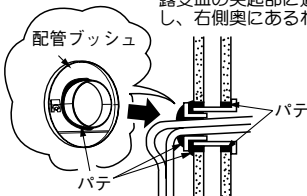
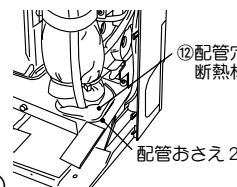
- 側面カバー・端子台カバーをはずして行います。

⚠ 警告

- **Ｆケーブルは、必ずケーブル固定バンドで固定する**
  固定しないと雨水が電気品に入り感電の原因となります。
  また、Ｆケーブルの接続部に外力が加わり、発熱・火災などの原因になります。
- **取り外した端子台カバーは工事後、必ず取り付ける**

室外機から電源を取る場合

- 電源スイッチでは電源をOFFできません。スイッチを「切」の状態にし、⑧電源スイッチ固定板を貼り付け、動かないようにしてください。
- 電源コードは不要ですので、据付時に室内機背面の下部スペースに納めてください。なお、移設などで電源プラグを再使用するときに、ホコリの付着や汚れなどを防ぐため、据え付け部材のネジを収納しているビニール袋などで電源プラグを包み、テープ止めしたうえで収納してください。
- 室内機ＡＢ端子は接続不要です。

Ｆケーブルの接続

仕上げ

1 配管の断熱と仕上げ

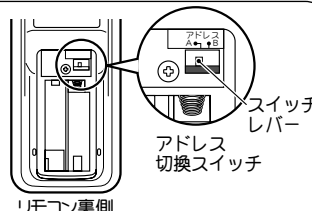
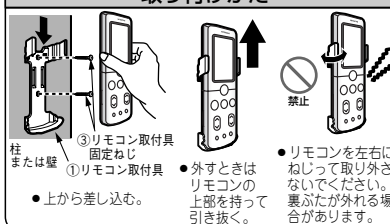
●配管とFケーブル接続後、右図のように配管おさえ1と2をねじ止めし、配管とFケーブルを固定します。
●配管おさえ2は、配管を固定する他にねずみ等の室内機への侵入を防止する役割がありますので、必ず取り付けてください。
●配管おさえ2と配管の間の隙間を埋めるように、⑫配管穴断熱材を押し込んでください。
●配管の接続部は化粧カバーとの当たり防止のため、できるだけ奥側に押し込むように整形してください。
●室内・室外機据付図のように配管・Fケーブル等をテープ巻きし、壁に固定します。
●ドレンホースや配管が押入れや廊下など屋内を通る場合は、露付き防止のため保冷用断熱材(不足するときはサービスパーツ品 部品番号：RAS-228FX 017)で覆い、断熱の強化をしてください。
●壁穴部と、配管ブッシュ・配管のすき間を〔配管カバー(市販品)を使用した場合も〕パテにて完全にシールしてください。シールが完全でないと、壁内や室外の高湿空気が浸入し、露たれの原因になります。
●ダブルエアクリーナーフィルターの取り付けかたについては、取扱説明書のP.16をごらんください。
●仕上げが完成しましたら、化粧カバーを取り付けてください。(P.8「化粧カバーの取り付けかた」を参照)

⚠注意
フレア継手断熱と左隣りのパイプカバーとのすきまを開けること。すきまがないと露垂れの原因になります。

2 リモコンの固定

●リモコンはリモコン取付具で壁や柱に固定することができます。
●リモコンを固定したまま、エアコンを操作するときは信号がエアコンに確実に受信されることを確認してください。なお、蛍光灯により影響され信号が受信されなくなることがありますので、昼間でも点灯して確認してください。

取り付けかた

柱または壁
③リモコン取付具固定ねじ
①リモコン取付具
●上から差し込む。
●外すときはリモコンの上部を持って引き抜く。
禁止
●リモコンを左右にねじって取り外さないでください。裏ぶたが外れる場合があります。

アドレス切換スイッチについて

2台の室内機を同じ部屋に据付けたときなど、リモコンの混信を防ぎたいときに使用します。
アドレス切換スイッチは、リモコンの電池ふたを外したところにあります。
（出荷時は「A」側に設定されています。）
●アドレス設定(混信防止)の方法
2台の室内機のうち、1台について設定を行います。（もう一方の室内機は電源を切ります。）
①リモコンに乾電池を入れ、リセットスイッチを押します。
（取扱説明書P.14、15を参照してください。）
②リモコンの送信部を室内機に向けた状態で、アドレス切換スイッチのスイッチレバーを「B」側に動かします。
③「ピッ」という受信音がして、設定が終了します。
●アドレス設定後、リモコン操作をして動作することを確認してください。動作しない場合は、スイッチレバーを「A」側に戻し、再度設定操作を行ってください。

3 アースと漏電しゃ断器

D種接地工事について
● 接地工事は電気工事士の方が行ってください。
● 接地抵抗は100Ω以下であることを確認してください。ただし漏電しゃ断器を取り付けた場合は500Ω以下であることを確認してください。

⚠警告

●必ずD種接地工事および、漏電しゃ断器設置工事を行う
設置場所によっては、万一漏電したときの感電防止のために法律で定められたD種接地工事と漏電しゃ断器の設置が義務づけられています。
（アース工事は、必ずアース付きタンデムコンセントを調達のうえ、アース工事を行ってください。）
現地の事情等により、アース付きタンデムコンセントによるアース工事ができない場合は、D種接地工事に適合したアース棒を使用して「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。アース端子は室外機のベース側面(サービスバルブ側)に付いています。アースをしますと感電防止のほかに製品に触れたときに感じる静電気の障害や、リモコン操作時にテレビ、ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。
●アース線は、次のようなところに接続しない
(1)水道管 (2)ガス管…引火や爆発の危険があります。
(3)避雷針、電話のアース線…落雷のとき大きな電流が流れ危険です。

4 電源と試運転およびチェック

電源

⚠警告

●電源プラグの改造や電源コードの延長は、絶対にしない
●電源コードはゆとりをもたせ、電源プラグに力がかからないようにする
●電源コードはステップルなどで固定しない
●電源コードは熱を発生しやすいため、針金やビニタイなどでまとめない

⚠注意

●コンセントは新しいものを使用する
古いと電気的接触が不十分で思わぬ事故につながる場合があります。
●電源プラグを差込むときは２～３回抜き差しを行い、なじませてから完全に差し込む

試運転

●試運転を行いエアコンが正常に運転することを確認してください。
●取扱説明書の手順で操作について「お客様」に説明してください。
●室内機が動かない場合は、Fケーブルの誤接続がないか確認してください。

据え付けチェック

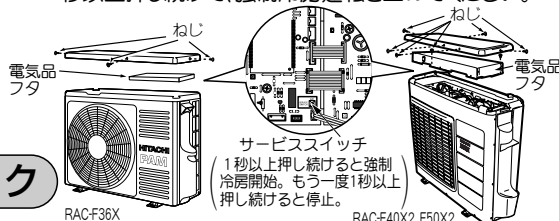
●P.8の「ルームエアコン据付点検カード」によりチェックします。

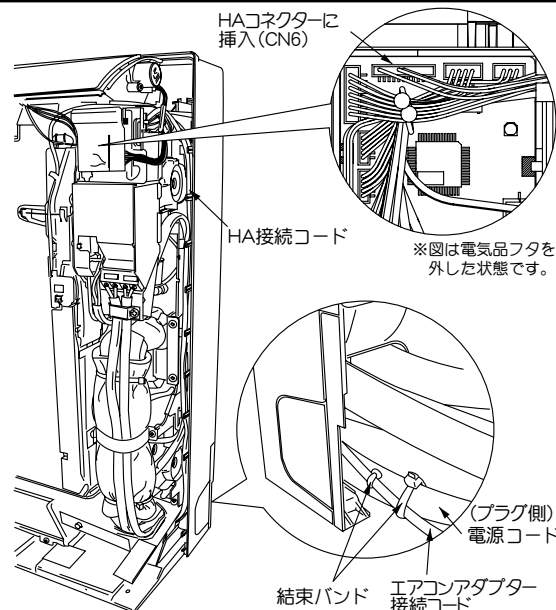
強制冷房運転

故障診断や、室外機に冷媒を回収するときに使用してください。

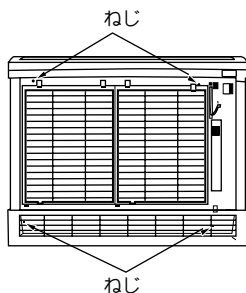
●一度電源を切り、再度電源を入れて1分以上待ってからサービススイッチを1秒以上押してください。
●強制冷房運転中はタイマーランプが点滅します。
●サービススイッチでの作業が終了したら、必ずスイッチを1秒以上押し続けて、強制冷房運転を止めてください。

⚠注意
●サービスバルブのスピンドルを閉めた状態で5分以上運転しない

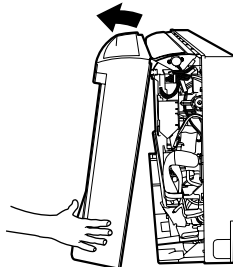
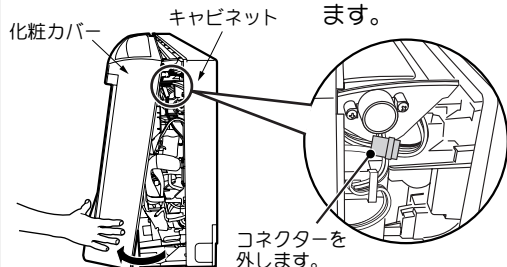
〈印刷記号：XS-1 Ⓑ〉

ＨＡシステムと接続するとき

●別売のＨＡ接続コード（サービスパーツ）部品番号（RAS-2810RX 100）が必要です。
●化粧カバー、電気品フタを外し、上記のＨＡ接続コードに付属の作業要領書に従い、配線を接続します。
●右図のように、エアコンアダプター接続コードをはわせ、電源コードに結束バンドで縛ります。
●詳しくはＨＡ機器に付属の取付説明書と合わせて、よくお読みください。
●化粧カバーの外しかた・取り付けかたを本説明書で確認してください。

化粧カバーの外しかた

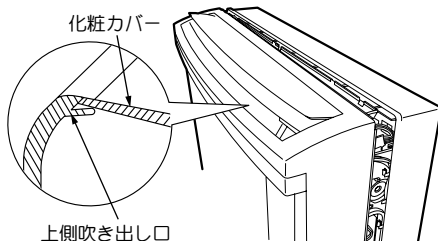
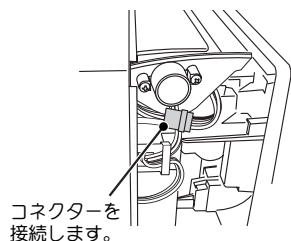
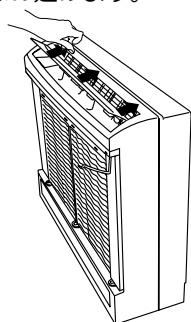
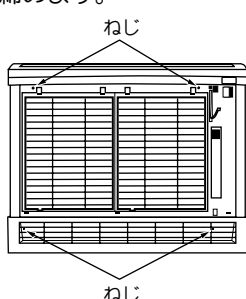
1 フロントパネルを取り外します。（取扱説明書Ｐ.16を参照してください。）
●フロントパネルの着脱は、必ず両手で行ってください。

2 化粧カバーのねじ4本を外します。

3 化粧カバーの下部を、両側面から押さえ手前に引き開きます。

4 化粧カバーと電気品を接続しているコード（赤色）のコネクター（白色）を外します。

5 化粧カバーを、上に持ち上げるようにして外します。

化粧カバーの取り付けかた

❶化粧カバーと電気品から出ている各々のコード（赤色）のコネクター（白色）を接続します。

❷上側吹き出し口と、化粧カバーの溝を合わせてはめ込みます。
コードの化粧カバーへの噛み込みに十分注意してください。
故障の原因になります。

❸化粧カバー上面の爪（3カ所）をカチッと音がするまで押して、確実にはめ込みます。

❹化粧カバーのねじ4本を締めます。

❺フロントパネルを取り付けます。
（取扱説明書Ｐ.16を参照）

キ…リ…ト…リ

お客様氏名	様		
（電話番号）	（　　）		
お客様住所			
機種名		製造番号	
据付年月日		据付担当者	

ルームエアコン据付点検カード

（点検済みの項目の□の中に✓印を記入してください。）

- □ 配管はR410A用を使用しましたか
- □ 輸送部品は、外しましたか
- □ 配管接続部のガス漏れはありませんか
- □ 接続ケーブルの接続は正しく確実ですか
- □ 除湿水は漏れずに、よく排水しますか　また、露受皿に除湿水がたまらないような傾斜で据え付けられていますか
- □ 配管接続部の断熱はしましたか
- □ 据付強度はじゅうぶんですか
- □ 化粧カバー（化粧パネル・ルーバー）は確実に取り付けてあり、落下の危険はありませんか
- □ アースは正しくしてありますか
- □ 壁穴に保護パイプをつけましたか
- □ 壁穴部のシールは確実にしましたか
- □ 試運転をしましたか
- □ 取扱説明書の表紙に記載された形式名のうちの、据え付けた形式名の前に○印を付けましたか（取扱説明書が2機種以上の共用になっている場合）
- □ お客様に正しい取り扱いと、運転のしかたを説明しましたか

キ
リ
ト
リ

サービス記録

年 月 日	サービス内容	サービス担当者

キリトリ線から切りはなし、据付時の点検、サービスの記録として、お店で保管、ご使用ください。